

1. 件名：「玄海原子力発電所3，4号炉の地震等に係る新基準適合性審査
（標準応答スペクトルの規制への取り入れに係る変更）に関する事
業者ヒアリング（17）」

2. 日時：令和5年5月29日(水) 16時00分～19時10分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者

原子力規制庁：名倉安全規制調整官、佐口上席安全審査官、谷主任安全審
査官、鈴木安全審査専門職、井清係員、松末技術参与、田
島主任技術研究調査官

九州電力株式会社：土木建築本部 副本部長 他8名

（このうち4名はテレビ会議システムによる出席）

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

＜＜本年5月18日に受取済み＞＞

- ・玄海原子力発電所3号炉及び4号炉 標準応答スペクトルを考慮した地
震動評価における模擬地震動の作成及び基準地震動の策定について
- ・玄海原子力発電所3号炉及び4号炉 標準応答スペクトルを考慮した地
震動評価における地下構造モデルの設定結果を踏まえた既許可の地震動
評価への影響確認について

＜＜本年5月23日に受取済み＞＞

- ・玄海原子力発電所3号炉及び4号炉 標準応答スペクトルを考慮した地
震動評価における地下構造モデルの設定について

時間	自動文字起こし結果
00:00:02	はい、規制庁地震津波の鈴木です。それでは時間になりましたので玄海原子力発電所、標準応答スペクトルを考慮した地震動評価。
00:00:12	に係るヒアリングを開始します。本日のヒアリングは、いわゆる模擬地震動の作成基準地震動の策定ですね。
00:00:21	これに係る資料が、5月18日に出ていますのでこの1回目、
00:00:26	同じく、許可の地震動評価への影響確認、こちら資料出てきてますのでこの1回目、
00:00:32	残りが地下構造モデルの設定ということで前回会合からの改定と、ことでこれが主、23日付で出てきてますのでこの3点ですね資料3点あります。
00:00:46	新しく出てきた前の2社ですね基準地震動の策定と許可の地震動評価への影響とまずこちらについて説明をもらって、こちらから確認をすると、そのあとで後半に地下構造モデルの設定について同じく、
00:01:00	説明確認を行うという形で進めたいと思います。では九州電力の方から、
00:01:07	PT-02602 なんですかね、まずこちらの説明をお願いします。
00:01:12	はい。九州電力の本村でございます。本日はよろしくお願いいたします。をし、先ほど鈴木さんの方からありました通り、TT026。もう、僕自身はの作成及び基準地震動の策定について、それと、TPG027。
00:01:29	地下構造モデルの設定結果を踏まえた基本の地震動評価への影響確認についてという二つの資料をまずご説明させていただきます。早速ですけども、TPG026。
00:01:42	の資料の方からご説明させていただきます。
00:01:46	まず、コメントリストになります。開いていただきまして、5ページ目、違う。3ページ4ページ5ページに、コメントリストを示してございます。
00:01:57	まず、4ページの14番15番につきましては、4月の28日に、
00:02:05	の会合ですね、のコメントとしましてNo.14、審査会合において確認した上下動の一部周期における、観測記録との不整合の要因、及び地下構造モデルへの
00:02:17	反映要否についての考え方等を、資料に反映すること。それと、No.15になりますけども、EL-90メーターからEL-200メーターの範囲の地盤減衰を $Q=16.7$ に設定した。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:02:33	標準応答スペクトル用モデルと観測事実との比較結果について資料に追加することということで、こちらは別の TPG028 の方で、後程ご説明させていただきます。
00:02:47	それと、模擬地震はについてのコメント、
00:02:51	3 ページになりますけども、ナンバー4 の段水槽を用いた時模擬地震はの作成について継続時間の設定を含め、検討して説明すること。
00:03:02	それと、5 ページになりますけども、
00:03:05	S-4 ですね。
00:03:06	模擬地震はの作成について複数の方法から、一様乱数の位相を持つ制限はの、重ね合わせを採用した妥当性を説明することということで、この二つにつきましてはこの TPG026 ですかね。
00:03:20	この資料でご説明させていただきます。それと同じページ 5 ページになりますけども S-2、地下構造モデルの変更に伴う既許可の地震動基準地震動への影響について説明することということで、
00:03:34	こちら、清後程 TPG027 の方でご説明させていただきたいと思います。
00:03:42	続きまして次のページでいただきまして、6 ページになります。
00:03:48	こちらスケジュールということで示させていただいております。
00:03:55	後程ご説明します地下構造モデルの取りまとめ資料の修正で
00:04:01	追加解析がちょっと発生しておりまして 1 週間ちょっと後ろ倒しになっておりますが、5 月の
00:04:10	中旬以降に資料を提出させていただきまして審査会合の方、僕自身はと合わせて、
00:04:17	6 月上旬と。
00:04:19	いうふうに考えております。これに伴いまして若干、基礎地盤の評価も、後ろ倒しになりますけども、
00:04:29	補正の時期については、10 月末で変更ございません。
00:04:33	続いてちょっとむの議事進行の方に、説明移りたいと思います。
00:04:40	はい。説明者かわりまして九州電力の盛でございます。別に、新版の作成についてご説明いたします。
00:04:48	まず 8 ページ目でございますが、8 ページ目は、模擬地震はの作成方針ということで、審査ガイドに基づきまして、複数の方法を具体的に申しますと、正弦版の重ね合わせによる補位相を用いた模擬地震後、
00:05:01	リスク観測記録の位相を用いた模擬地震版の 2 種類の模擬地震を作成しまして比較検討した上で、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:05:08	標準応答スペクトルを考慮した地震動評価に用いる文字は設定する方針としております。
00:05:14	こちら 8 ページにも記載しておりますが、移行制限の重ね合わせにより位相を用いた模擬地震はのこを、
00:05:20	残水層を用いた模擬地震は、実観測記録を用いた模擬地震はのこを、
00:05:26	観測位相を用いたもう下水と呼ぶことといたします。
00:05:29	こちらにつきましては昨年 12 月の大山氏、
00:05:33	97 回審査会合から変更をご説明しましたよから変更はございません。
00:05:40	続きまして 9 ページの方をお願いいたします。
00:05:44	9 ページの方は、設置許可基準規則の解釈に記載のございます、標準応答スペクトルに適合する模擬地震を作成する旨を記載してございまして、
00:05:54	こちらも沖。
00:05:55	会合で載せ方針のご説明から変更はございません。
00:06:00	10 ページ目をお願いいたします。
00:06:03	ここからはトラン水槽を用いた模擬地震版についてご説明をしまして、こちらも会合での方針から大きな変更ございませんが、
00:06:12	野田の振幅包絡線による経時的变化を採用しまして、
00:06:15	設定に当たりましては全国共通に考慮すべき地震動の地震規模が、審査ガイドでは、BW6.5 程度と、幅を持って示されていることから、
00:06:26	経験式から換算されますマグニチュードにつきましても、
00:06:29	保守的に M7.0 と設定しますし、等価震源距離は、震源近傍を想定して 10 キロとしまして、
00:06:37	この条件で振幅包絡線を設定して、文字はを作成する方針としておりました。
00:06:42	こちらも
00:06:43	越野について大きな変化はございませんが、今回の模擬本作成結果をですね記載するに当たりまして、
00:06:50	模擬地震を作成する際の適合条件として、1 ポツ目ですこのページの、
00:06:55	最後の方に日本電機協会の判定基準を満足する旨を新たに追記してございます。
00:07:03	11 ページ目をお願いいたします。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:07:06	11 ページ目からは、10 ページでの方針に基づき作成しましたトラン水槽も聞いた桃井次官の作成結果を示しております、
00:07:15	11 ページが水平方向、12 ページが鉛直方向の作成結果をお示しております。
00:07:22	真ん中の方に適合条件の結果、それから左側に応答スペクトル下側に向き人は形を示しております。
00:07:31	と、水平鉛直ともに、日本電気協会に示され適合条件を満足することを確認しております。
00:07:39	続きまして、13 ページ目からお願いいたします。
00:07:44	13 ページ目からは、今度観測輸送を用いた模擬地震は、作成方針を、
00:07:50	示しております。こちらも 1097 回会合から、大きな変更はございません。
00:07:57	13 ページ目は、玄海現職発電所の敷地地盤の鉛直アレイ観測点を示しております、本検討では、いえる説明他の簡素記録を用います。
00:08:08	14 ページ目は、記録の選定フローを示しております、
00:08:12	収集条件 1 の通り、地震の規模としましては、
00:08:15	泊中度 5 以上 7 以下といたします。
00:08:18	使用距離は、収集条件に示します通り、震源近傍を想定しまして、玄海原子力発電所から 30 キロ以内とし、
00:08:26	30 キロ以内に記録がない場合は、距離を拡大してできるだけ距離の近い記録を収集します。
00:08:32	収集の結果は記録が複数ある場合は、
00:08:36	普通、乾燥記録を二つのステップで選定いたします。
00:08:39	ステップ 1 では最大加速度 3 成分の除外事象の記録、ステップ 2 では、震源を特定せず策定する地震動として、
00:08:46	震源近傍で、
00:08:49	その記録を収集するという観点から使用距離が近い記録、最大加速度が大きい記録。
00:08:54	それから仕事の継続時間の長い記録を選定いたします。
00:08:59	15 ページ目をお願いします。15 ページ 16 ページ目は、以上の、先ほどのご説明の通り収集しました。
00:09:08	乾燥記録を基に観測を用いた模擬地震は選定しております、こちらも 1097 回会合から衛藤さん、方針の変更はございません。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:09:18	15 ページ目ですが、玄海現職発電所で収集しました。観測記録としましては、
00:09:24	清小栗 30 キロ以内に該当する記録はございませんでしたので、
00:09:29	震央距離の条件を拡大しまして、6 地震の観測記録を受けております。
00:09:34	そのうち、須藤。
00:09:37	一番の衛藤。
00:09:40	九州北西沖の地震、福岡県西方沖地震の本震それから 4 番の、
00:09:45	福岡県西方沖地震、福岡県中部の地震ですね、その他に線を抽出して、
00:09:51	とせとしてございます。
00:09:54	あとその他の 4 地震も含めてこれは収集した 6 地震について、特にそう持つ記録がない、相続性を持つ記録がないことを確認してございます。
00:10:02	あと 16 ページ目では、登坂 15 ページで選びました 2 地震から、
00:10:07	観測位相を用いた模擬地震の作成に用いる観測記録を選定してございまして、震央距離最大加速度、主要動の長さを比較しまして、ナンバーワンの
00:10:17	2005 年 3 月 20 日の求職者沖の地震を観測位相を用いた模擬地震に用いる曲折として選定してございます。
00:10:27	あと 17 ページは先ほど選定しました 2 地震の、
00:10:31	加速度は形と応答スペクトルをお示ししております。
00:10:35	続きまして 18 ページをお願いいたします。
00:10:39	それは選定しました福岡県西方沖地震の地震の観測記録の搬送基礎用いた、
00:10:45	僕自身はこの作成結果を示してございます。
00:10:49	3 成分ごとに時刻で算応答スペクトルを示しておりまして、一番下の表は、
00:10:54	トラン水槽を用いた
00:10:56	議事課と同様に、日本電機協会による判定基準への適合度を確認してございます。
00:11:05	長が観測位相を用いた模擬地震の特性結果になりまして、
00:11:09	19 ページ目では、トランス位相を用い、地震基盤相当面における両手法の、
00:11:15	応答スペクトルの比較を行っております。
00:11:18	両者両者野本スペクトルにつきましては、標準応答スペクトルに適合するように作成してございますので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:11:24	有意な差は見られない結果となっております。
00:11:29	続きまして 20 ページをお願いいたします。
00:11:33	20 ページでは、
00:11:35	20 ページからは、二つの方法で作成しました模擬地震について。
00:11:41	はい基盤表面での地震動を作成して比較検討を行います。20 ページではその方針を示しております。
00:11:48	檀水槽と観測層の二つの方法で作成した模擬地震はにつきまして、解放基盤表面までの地震はの電波特性を反映し、共存設備等を考慮した。
00:11:58	解放基盤表面での地震動を作成し比較検討を行います。
00:12:02	比較検討は本ページの下表に示しましたように、解放基盤表面の地震はの時刻歴は形。
00:12:09	それからオートスペクトルを確認いたします。
00:12:12	時刻歴は形は、解放基盤表面における最大加速度の大きさや、
00:12:16	共振分の継続時間の長さに着目して比較いたします。
00:12:20	オートスペクトルは、解放基盤表面の応答スペクトルの比較、地震基盤相当面におけるスペックに対する解放基盤表面における応答スペクトルの比を両方で比較します。
00:12:32	これらの比較検討により、複数の方法による特徴について確認し、評定のポストに基づく地震動評価に用いる、僕自身は汚染水選定することとしています。
00:12:43	直江藤 1097 回の会合でご説明。
00:12:46	した方針から少し変更がございまして、変更というか記載の適正化がございまして、まず一つポツ目になりますけども、
00:12:54	応答スペクトルの比較の 1 ポツ目で、海溝基盤表面の応答スペクトルを比較するとございしますが、
00:13:01	前回の方針の説明では、地震基盤相当面の比較もお示し、記載してございましたが、
00:13:08	地震基盤相当面の地震は比較は、19 ページ目ですすでにお示ししております、
00:13:13	この解放基盤表面の実施の比較等の箇所では記載を削除してございます。
00:13:19	また二つ目の応答スペクトル比につきの記載につきましても、前回会合と当時の開校時点では、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:13:26	地震基盤相当及び解放基盤表面のオートスペクトルの比較というように、両基盤面でそれぞれ増幅率をとるようにちょっと読めるような記載となっておりましたので、
00:13:36	同じく記載をわかりやすくちょっと記載、適正化してございます。
00:13:44	続きまして、21 ページ目お願いいたします。
00:13:48	21 ページ目には、解放基盤表面までの地震はの作成において考慮する地下構造モデルとして、
00:13:54	第 1142 回審査会合でお示ししました標準応答スペクトルモデルを示してございます。
00:14:00	22 ページから、両方の解放基盤表面の地震の比較を行います。
00:14:06	22 ページになりますが、加速度事故結果形の結果を示してございまして、
00:14:12	パソコンと時刻歴は系の継続時間につきましては、
00:14:15	供試分着目しまして、水平 300 ガル以上建築 200 ある以上燃すに小柳が継続する時間を下線で示しております。
00:14:24	地震はの最大加速度の大きさは水平鉛直ともに含水損を用いた地震はの方が大きく、また強制部の継続時間も同様に、水平鉛直ともに、
00:14:33	水槽を用いた模擬地震はの方が長いことを確認してございます。
00:14:40	続きまして、23 ページ目をお願いいたします。
00:14:44	23 ページ目は、次に解放基盤表面の応答スペクトルの比較を行ってございまして、
00:14:51	断層観測位相ともに、応答スペクトルは同等であり、その違いによる影響がないことを確認してございます。
00:14:59	24 ページ目では、先ほど地震基盤相当面における応答スペクトルに対する、基盤表面における応答スペクトルの比を示しておりまして、
00:15:08	応答スペクトル比で見ましても、両者に、両者は同程度で、位相の違いによる影響がないことを確認してございます。
00:15:19	25 ページ目をお願いいたします。
00:15:21	25 ページ目では、模擬地震版の検討結果のまとめとして、
00:15:27	示しておりまして、
00:15:29	①の時刻歴派遣については LAN 水槽を用いた模擬地震はの方が優位な結果となり、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:15:35	丸井野本スペクトルにつきましては聾者が同程度となる結果となっていることから、標準応答スペクトルを考慮した地震動評価においては、何水槽を用いた模擬地震はを採用することといたします。
00:15:47	以上が模擬地震版の検討になりまして、26 ページ目からは基準地震動の策定になります。
00:15:55	27 ページ目をお願いいたします。
00:15:59	ここでは先ほど選定いたしました、トランス移送による模擬地震による解放基盤表面の審査について、基準地震動への考慮を検討します。
00:16:08	まず基準地震動の策定に関する方針といたしましては、新たな地震動と既存の基準地震動との応答スペクトルを比較しまして、
00:16:16	いずれかの周期体で新たな地震動が上回った場合、基準地震動として策定いたします。
00:16:22	その放水に基づき、今回の標準応答スペクトルを考慮した地震動について、既存の基準地震動 1、Ss1 から Ss をと比較した結果、一部の周期体でこれらを上回ることから、
00:16:33	基準地震動 Ss6 として策定いたしました。
00:16:36	と下の図に、Ss1 から Ss6 の応答スペクトルを示しています。
00:16:42	28 ページ目では、Ss1 から 16、
00:16:45	Ss についてこそ駆動軸で表示したものになりますが、
00:16:49	水色が Ss6 になっておりまして、Ss6 は一部の周期体、具体的には水平では 0.02 秒から 0.3 秒付近、
00:16:58	0.26 秒から 0.2 秒付近、
00:17:00	鉛直方向では 0.03 秒から、
00:17:03	0.03 秒。
00:17:04	及び 0.07 秒から 0.9 秒付近において、
00:17:08	Ss1 から Ss5 を上回っていることがわかります。
00:17:15	29 ページ目は、こちらは基準地震動の加速度時刻歴は形を示してまして、
00:17:21	途中で策定しております Ss1 から Ss 後に、今回 Ss を右下の赤枠で囲ったところですね、こちらを追加してございます。
00:17:30	Ss のこの水平成分の最大加速度は 617 ガル、鉛直成分の最大加速度は 441 からとなっております。
00:17:39	30 ページ目は、先ほどの Ss1 から 6 の最大加速度一覧をお示したものにいたします。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:17:48	以上が Ss の策定になりまして、
00:17:51	31 ページ目からは、超過確率の参照についてご説明いたします。
00:17:57	31、2 ページになります。
00:18:02	32 ページでは、震源を特定せず策定する地震動の応答スペクトルの年超過確率を示しています。
00:18:09	内容としましては、金庫で評価しました内陸地殻内地震の領域震源モデルによる、
00:18:15	一応ハザードスペクトルと Ss6 と比較を行っております。
00:18:19	震源を特定せず策定する地震動の延長確率が、基本許可での評価結果と同等であることを確認してございます。
00:18:30	続きまして 33 ページ目をお願いいたします。
00:18:33	33 ページでは、基準地震動の超過確率の参照としまして、
00:18:39	基準地震動と既許可で評価した特定震源モデル及び領域震源モデルによる一様ハザードスペクトルを比較してございます。
00:18:47	その結果、基準地震動の年超過確率が、既許可での評価結果と同等であることを確認してございます。
00:18:55	34 ページ 35 ページは、これまでの評価のまとめを記載してございますので、内容につきましては繰り返しの記載になっておりますので、これは説明を省略させていただきます。
00:19:08	36 ページ目からは参考で、解放基盤表面の地震はの作成における地震地盤減衰の影響について、資料を参考で記載してございます。
00:19:18	37 ページ目をお願いいたします。
00:19:22	第 1142 回審査会合では、菊川以降に取得しました地震観測記録やボーリング孔内減衰測定結果等の、
00:19:30	観測時期等に基づきます設定とか構造モデルにつきまして、
00:19:34	地盤減衰 Q 値の見直しですね、92.5 から、
00:19:38	地震経審のところ 16.7 に見直しを行ってございまして、
00:19:43	いうことをご説明しております。
00:19:45	今回地盤減衰 Q 値を見直すことによる解放基盤表面での地震動のレベルの影響について、
00:19:51	ちょっと参考で確認をしておりますので、そちらを 38 ページにお示ししております。
00:19:57	38 ページをお願いいたします。
00:20:00	下の図に、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:20:01	お示しました通り、Ss6 の最大加速度は、地盤減衰 Q 値の見直し前の地震動に比べまして、
00:20:09	水平で 15 ガル程度、
00:20:11	鉛直で 12Gal 程度大きくなっておりまして、
00:20:14	さらには応答スペクトルの短周期体でも、基準地震動 Ss 力が大きい傾向にあることが確認できます。
00:20:23	TPG026 の資料につきましてはご説明は以上となります。
00:20:29	はい。九州電力の本村です。続きまして TPG0272 の資料を用いてですね、許可の地震動評価への影響確認についてご説明させていただきます。
00:20:41	1 ページ目開いていただきまして、こちら、昨年 12 月の会合ですね、1 度ご説明したはいるんですけども、
00:20:52	もともと右下の表ですね、12 月の会合では、A-90 メーターから A-200 メーターの Q 値ですが、
00:21:03	ここを 12.5 のモデルで、1 度ご説明させていただいてます。今回、標準応答スペクトルをモデルとしまして -90 メーターから -200 メーターを、
00:21:13	92.5 から 16.7 に見直しておりますので、その結果のご説明になります。
00:21:22	2 ページ目を開いていただきまして、広岡の地震動評価への影響の確認ということで①②、書いてございますけども、経験的グリーン関数法と理論的手法の地震動評価への影響、
00:21:34	それと、統計的グリーン関数法の地震動評価への影響ということで、この 2 点確認してございます。まず①の方になりますけども、
00:21:45	結果としましては 3 ページ 4 ページに示してございます。それぞれ竹木場断層による地震、それと城野南断層による地震の、断層傾斜角の不確かさを考慮したケースの、
00:21:58	理論的手法の比較になります。
00:22:02	まず、三つ相当スペクトルの緑線が、清鍛治審査のもの、それと、青線が今回のものになります。
00:22:12	どちらもあまり変わらない結果になってますけども、もともとのその 92.5 の倍から、ほとんど変わってない結果になってございます。
00:22:22	それと、②番の統計的グリーン関数法の方ですけども、結果としましては 5 ページ 6 ページに示してございます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:22:33	もともとの
00:22:35	と、経験的グリーン関数法を赤線、それとももとの既許可時審査の統計的グリーン関数法については緑線で今回の標準応答スペクトルをモデルで計算した結果が青線になります。
00:22:50	5 ページ 6 ページ、見ていただいても、
00:22:56	もともとの統計的グリーン関数法の妥当性が損なわれるというものではございませんで、前回、12 月にご説明させていただきました 92.5 のモデルとほとんど変わらない結果になってございまして、
00:23:12	結論としては変わらず、許可の地震動評価に影響がないことを確認しております。
00:23:18	許可への地震動所管の地震動評価への影響については、以上でございます。
00:23:29	はい、説明ありがとうございます。規制庁鈴木ですけども。そうしたらば、
00:23:34	まずは 026 ですかね模擬地震は基準地震動の策定ということで、
00:23:41	こちらの方一応方針は去年の 10 月ですかね基本的な方針は、
00:23:48	この会合で議論をしていて、いわばそこに計算結果を当てはめていったという資料ですけども。
00:23:57	しますか。根井、先池田、
00:24:06	ちょっと先に一番気になったところから行きましょうか 2728 なんですけど。
00:24:13	これ、
00:24:15	どうという何か今の生協の説明または、この資料の書いてある字づらから読む等、
00:24:21	その Ss1 から Ss5 版で必ずしも Ss-A 地区の一部周期体を超えていても、断層モデルによる地震動評価で、
00:24:31	その当該収益をカバーしていればそれを超えていない。
00:24:35	という判定をしているように聞こえたんですけどそういう説明ですか。
00:24:47	九州電力の盛でございます。
00:24:49	いえ。
00:24:51	SS 今回 6 の策定につきましては、1 時間のときの考え方を踏襲しております、震源を特定せず策定する地震動につきましては、特定して策定許可の時には時、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:25:03	特定して策定する地震動の Ss1 から 3 との比較を行いまして、4 と 5 を策定してございます。
00:25:09	今回と同じように、考えから Ss1 から高校ということで比較を行ってございますが、
00:25:17	おっしゃった通り 1 から 3 との比較で、
00:25:22	一部の周期体でまず、明らかに超えていれば、基準地震動として策定することになるとは
00:25:30	考えてございます。
00:25:31	すいませんちょっとご回答になった。
00:25:35	であれば、他市が行っていた断層モデルによる地震動評価。
00:25:40	仮にですよ。
00:25:42	Ss 案を一部周期体で超えていても、その周期を断層モデルによる地震動や個別の
00:25:49	断層ですよ。
00:25:51	で、
00:25:51	そこをカバーしていれば、それは Ss6 として採用しないっていう考えだということですかね。ちょっとそのあたり。
00:26:00	うん。ちょっと直近標準応答スペクトルの 2 の、
00:26:04	Ss6T 社の場合 Ss6 になるかならないかなんですけど、
00:26:08	その田谷のところとか D 層がどういうふうと比較しているかも見られて今一応そういう、
00:26:14	御説明だということですかね。
00:26:22	九州電力の盛です。はい。直近のサイトの審査等も確認をしておりますし、当社としましては標準応答スペクトルの取り入れに変え、
00:26:33	桂の会合の時のですね、
00:26:36	状況も十分認識してございまして、今回一部の周期体で仮に Ss6 が Ss1 を超えて、断層モデルに仮にカバーされたとしても、
00:26:47	震源を特定せず策定する地震動につきましては、
00:26:51	A3 成分ですね、の関係を確認しまして、
00:26:56	いずれかの地震動に補 3 成分ともに包絡されない場合、水平鉛直で包絡されない場合は、基準地震動として考慮するという考え方を、
00:27:05	本当に案と今回検討してございます。今回 Ss6 ですね最終的な仕上がりを見ますと、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:27:14	明らかにですねもう特定の周期体で基準地震動を超えてございますので、
00:27:18	記載としてはもう一部の周期体で S1 から 5 を上回るというような記載としてございます。
00:27:25	結果としてそう、Ss6 として選ばれているのは別にいいんですけど、
00:27:31	何と何で比較をして、
00:27:33	当然その 3 成分等、どれか 1 成分でも上回ってれば、それは当然基準地震動は賛成、3 成分だったり、NSEW アップダウンか水平か鉛直かっていう形なので、
00:27:45	笹井を選ばれるんですけど、
00:27:47	ちょっとその何と何を比較しているのかっていうのを、それはじゃあ、正確に書いてくださいねというのと、
00:27:53	あとその断層モデル、
00:27:56	江東スペクトル同士、なんで Ss & 比較はあれですけど、断層モデルと比較して、
00:28:02	断層モデルがおっきいって、ちょっとあんまりそれを他社で、
00:28:07	最後、許認可のこういう中で見た記憶はあまりないのですが、
00:28:13	ちょっとそこら辺も含めて、どれと比較しているのかってのは正確に書いてください。
00:28:18	そうしないと多分 28 とかもその何秒から何秒で上回ってるかっていうのは、取れとの関係で上回っているのか。
00:28:26	何か今の分後、伊勢さんとの関係でここを上回ってるんだけど、他との関係でここはカバーできてるとか、なんかそんな説明にも聞こえたので、ちょっとそこら辺は正確に書いてください。
00:28:41	九州電力の明石でございます。ご指摘の趣旨は理解してるつもりでございましてさらに先行他社でどういう説明になってるかっていうのも、把握してるつもりですんで、
00:28:51	例えば、これどこだったかな理由はまず、Ss1、オートスペクトルによって決めてる話なので S1 と見比べて、S、礼節 1 と見比べてそれを超えているもので、
00:29:06	どうだこうだとツーステップのような、湯のようなというかツーステップの選定になっていると、いう形になっているのは重々承知しております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:29:15	で、当社としても当然ちょっとそういうそういう整理も可能というところ、ちょっと言い方おかしいんですけども、結果的にそういう整理をしても結果は変わらなくはなるんですが、ちょっと気にしたのは、
00:29:26	既許可の時、特に玄海の場合 Ss-4 と 5、
00:29:31	でも、特定せずの地震動を策定する時に、審査上のご説明でそれから申請書上のかな、それまでの Ss123 と比較をして、
00:29:44	超えてるので言いますと、
00:29:47	というような御説明書きぶりで言ってるのでそれと整合させた、ご説明はあるの。時系列でそれより前に策定してる。
00:29:57	Ss に対して超えてるかどうか。
00:29:59	を見て選定しますという書きぶりでこれまで行ってるので、そういう考え方でいくと、今回すいませんはっきり読めてないのかもしれないですけども Ss1235。
00:30:12	と比較してどうかと。
00:30:14	ということで今回記述してるというものです。で、ご指摘あった通り先行他社も含めてまず Ss1 に対してどうなのっていう整理。
00:30:24	そうすることももちろん可能なんですけどとするとちょっと気局までさかのぼってどうだったのっていうちょっと問題、問題というかちょっと再整理も出てくるので、
00:30:34	すいません今般我々としてはもう既許可までの流れを踏襲して、それまで策定している Ss と比べて、
00:30:42	判断してますと、ということで記載をしております。
00:30:46	以上でございます。
00:30:51	清川の SS4 号の圧選定理由に、
00:30:55	合わせましたということです。その標準応答スペクトルの
00:30:59	これまでの先行他社の扱いとかそういうことよりも、
00:31:04	わかりました南米ちょっとまず、どういう考えで、
00:31:08	選んでるかっていうところを、ちゃんと説明してくださいという。
00:31:13	そこであります。はい。
00:31:15	こちらそうするとですね先に 26 の方、
00:31:21	資料の上から順にいきましょうか。
00:31:28	ちょっとまず、今回の説明資料ですね、会合としては当然、その模擬地震と地震動も地震か地震動評価と、基準値の策定としゃもう初回になる。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:31:40	ですけど、
00:31:41	とはいえ一応、コメント回答に該当するものが二つあるのかな。
00:31:51	県、3 ページで言うと No. 4 で、
00:31:55	5 ページでいうと玄海にも共通するとして S-4、
00:32:01	ですかね。
00:32:02	それは当然、前回方針があった去年の 10 月のところでも、方針としては説明聞いてるんですけど、
00:32:10	それは今回の資料で別にその専用ページをつくれということではないですけどどこで、そこは回収しているのかっていうのは、わかるようにしてください。例えばあれ、ナンバーは 10 ページになるんですかね。
00:32:22	多分 1 ページの説明が、おそらくこれトラン水槽を用いた模擬地震の作成なんで、ついての、この今回回答ってなってるコメントですよ。
00:32:32	ナンバー 4 つのはここで回答してるんですけどっていうのは、そこはちゃんとわかるようにしておかないと。
00:32:38	コメント回答がなされているのがなされていないのがよくわからなくなってこれ単なる資料のつくりですね。
00:32:45	あとは、9 ページ。
00:32:50	めかな。
00:32:51	これはちょっと
00:32:53	まずう地下構造は別途の資料でも説明が済んでいるとして、
00:33:00	一応、
00:33:03	ここですかね後でも結局出てくるんですけど、地震基盤相当面における模擬地震は策定するなんで、
00:33:10	後にも地下構造モデルは出てくるでは出てくるんですけど、ここでその地下構造モデルと、
00:33:17	地震基盤相当面がどこなんでここに入れる、大石八尾作りますっていうのは、初めに書いてしまっは、はどうですかって多分これ図を左にずらす紙にずらすかすれば、
00:33:28	どこに入力する森重を作るんですけどというのは多分わかる。
00:33:32	ほぼ単なる、見せ方の問題ですけどね。
00:33:35	この 9 ページの、
00:33:37	いずれちょっと確認したいんですけど、
00:33:40	規則の解釈における標準応答スペクトルに適合する。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:33:48	地震基盤相当面における模擬地震はを作成するといっ何かおけるが2回あって間に適合するは書いてあるんですけど、
00:33:57	これは、
00:33:58	この適合するって言うのは、
00:34:02	地震基盤相当面から、何らかに適合する模擬地震はが何かに適合する、ちょっとそこがないん、適合するものが何で適合する先が何でっていうことで、
00:34:14	何に適合するのかって、許可基準規則の解釈に適合する。
00:34:19	文字を作成する、ちょっとここを、
00:34:22	すみません何が何に適合すると言っているのか。
00:34:26	おけるが二つあって、ちょっとよくわからないんで、ここは何を言いたいの。
00:34:32	九州電力の盛でございます。こちらでは、
00:34:36	規則の解釈に示されております評定ごとスペクトルに、
00:34:40	適合する地震基盤相当面の模擬地震はを作成するという。
00:34:46	ことで記載をしてございましたですねちょっと OK におけるが二つ入ってちょっとすみません、記載が適切でなかったということだと思いますんで、こちらちょっと
00:34:56	修正したいと思います。
00:34:58	はい、標準応答スペクトルのもと、解釈に書いてるやつですけど標準応答スペクトルに適合するような明示品はを作るんです。その場所は地震基盤相当名ですってそういうとこですね。はい。
00:35:11	ちょっとここは、ちょっとパッと所見で読んだ人が、1回つまづかないようにもうちょっと表現ですけど、工夫設置した方がいいんじゃないですかそれだけの話です。
00:35:23	そのあとはさっき 10 ページはさっき言ったようにここにコメント回答の一部があるわけですね。
00:35:29	11 中には、
00:35:32	これは実際にここほぼ機械的な作業になるので、
00:35:40	協会の、一応、適合、
00:35:45	基準に該当します。
00:35:48	ということで一応その、
00:35:52	同等もしくはそれこれを上回るようにということで、イコール、或いは上回るっていう条件は満たしていると。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:36:00	で、そう言っていくと、14 なんですけど、
00:36:08	まず、見せ方ではあるんですけどこれ多分 1510 ロック。
00:36:15	かな。
00:36:17	17 も含めてなのかな。
00:36:19	これ 14 はこういう考え方こういうフローチャートでやっていきますってというのがせっかく作られたので、もう 1 枚使うのか、少しその矢印の色を変えるか、合うやつ色を付け加える化して、
00:36:33	実際にこのフローをどうたどっていったって、1056 ページで説明するのかわかっていうのは、ここは単なる見せ方三重の問題で、多分これ、
00:36:44	収集条件 1 は当然ですよこれ単にこのまま考え方なんで収集条件 2 の方で記録がある場合のところ、該当なしになって記録がないバーの方の矢印で 6 個の地震が選ばれて、
00:36:57	ステップ 1 に行くんですかね、このステップ 1 で残るのが 2 地震で、ステップの 2 のところで最後 1 地震で選びましたっていう説明を、15 ページ 6 ページ使うってなってる。
00:37:09	で、せっかくフローチャートでわかりやすくしたんであれば、
00:37:12	そのフローチャートをどうたどっていったって、それを 1056 で
00:37:17	しっかり説明しますっていう、単なるわかりやすさなんで、
00:37:23	今ある矢印の入れ替えるというよりは、
00:37:27	何かここにその当てはめ結果というか、この矢印をどうたどっていったのかそれを何ページ目で説明してるのかわちゅうのを書いてしまえば、それはわかりやすいんじゃないかという。
00:37:37	何かそこは多分見え方の問題で、
00:37:41	1516 はこれは前回あり方方針の時にも説明は、
00:37:48	されていて、ちょっとこの 14 ページの STEP II ですかね、これ一応①②でまず一旦 1 呼吸おいて加えて保守性を考慮し、
00:38:00	継続時間もということで③という形でやってるんですけど、
00:38:05	該当する。
00:38:07	16 ページの方を見ると何かもう、
00:38:10	ステップ、
00:38:12	II は何かもう 01 から 03 期とまとめて何か説明してしまっていて、ちょっとこれはどっちの考え方を噴射正しい姿勢として扱ってるのかなっていうのは、
00:38:22	どっちですかね。結論としてですよ。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:38:26	明らかに
00:38:28	ナンバーワンの地震ですかね。
00:38:31	九州北西沖の地震、こちらが選ばれるっちゅうところはそれはもう 10 月に議論してる通りなんですけど、
00:38:38	何か 14 ページだとまず丸一丸二で、
00:38:42	加えて、継続時間の方も確認します。
00:38:47	ということだったんで、
00:38:49	ちょっと 16 ページの説明だと思う①から③。
00:38:53	全部書く。
00:38:55	ちょっとここら辺は、
00:38:58	わざわざ 14 ページで一応二段階に、
00:39:01	している。
00:39:03	これはどっちがせいですかね。
00:39:12	すいません。九州電力の盛でございます。
00:39:16	14 ページの記載を、新
00:39:20	元近傍の記録を収集するというので使用距離が近い記録。
00:39:25	最大加速度が大きい記録っていうところを、に加えて、
00:39:30	保守性を考慮して継続時間を並べてございます。
00:39:34	こちらの例えば距離が近かったり最大加速度が大きい。
00:39:38	複数の記録がある場合に、衝動も加味して考慮するというですいません、ちょっと
00:39:45	並列というよりも
00:39:48	プラスアルファというか、その条件なのかなという、ちょっと考えてございますすみません、どっちでもいいんですよ。単純にステップIIの
00:39:56	震源特性伝播特性サイト特性の反映が①②保守性が③番でこの③三つが、1 度に比較する条件ですって説明なら、多分このフローと 16 合っていて、
00:40:11	一段階目でまずは震源たソックス伝播特性サイト測定の①②、まずはこれで比較をしてみて、
00:40:19	もしそこであんまり、
00:40:21	性違いがないんだったら、念のため丸三で比較するっていうんだったら、二段階になるし、ちょっとそこを
00:40:29	値の考え方で、③三つとも等価値で重要ってことなら、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:40:34	16 ページで一気に比較してるのは正しいですし、ちょっとそこら辺、こっちで見たかったのかなというのが、ちょっと 14 と 16 を見比べると、
00:40:44	医師迷ったので、
00:40:51	特に差をつけてなければ、14 番土佐をつけてないってことであれば別に、
00:40:56	これ以上は聞きませんが、
00:40:58	そうします。はい。九州電力の方ですか。特に、すみませんちょっとご説明悪かったんですが、差をつけたよりも三つの観点で総合的ということだと思いますんでちょっと記載の方は
00:41:08	そいで、それ、それといいますかわかるように、
00:41:12	調整したいと思います。はい。
00:41:16	はい。
00:41:17	17 以降は、これは、
00:41:23	前回から、
00:41:26	19 で一旦、
00:41:29	LAN 水槽のものと、地震基盤の
00:41:35	スペクトルで比較はしています。
00:41:40	ただこれは一応最終的な LAN 水槽と乾燥技術をどっち使うかの判定はあくまで解放基盤の方なんで、ここは単純に、単に違いがなかったってそれぞれがそれぞれで、
00:41:52	一応使えるものだというのを示した上で、
00:41:56	一応、どちらも間違いがなかったというのを、詳細をまとめているだけということですね。はい。
00:42:02	て、
00:42:03	20 ページこれもちょっとその文言なんですけど 20 ページの着目点と一応こういう形で一旦整理をしてから、後で比較するっていうのはそれは結構なんですけど、
00:42:15	②の、
00:42:17	着目点の、
00:42:19	喉頭スペクトルで周期ごとの振幅の大きさに着目しますと言って、
00:42:26	何か先端に私が見えないだけなのかもしれないけど、これ以降多分周期ごとの振幅ってどっかに出て、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:42:34	出るわけじゃないんですよ結局は最後スペクトルを比較してるんですがちょっとここは、
00:42:40	小振幅って使ってるのは困難なのかなあという。
00:42:44	単純にこれは単なるわからないんで質問ですけど。
00:42:49	九州電力の盛です。こちらの②野元スペクトルの、
00:42:54	周期毎の振幅の大きさにつきましては、
00:42:57	23 ページで、
00:42:59	応答スペクトルの確認をしてございまして、こちらに該当しています。で、書記ごとの振幅を比較するとは、記載ございますけど、乱數位相と観測位相で当然出込み引っ込みはございますので、
00:43:12	特定の周期だけに着目して決めるのではなく、
00:43:16	全周期ですね、にわたって確認して位相の違いによる大きな影響がないということを確認してございます。そこをちょっと示しております。
00:43:35	すいませんこれ振幅の大きさって言うのは 23 ページで言うと、
00:43:41	ここに、ここに別にシンクが載ってるわけじゃないんでここは谷スペクトルですよ。
00:43:49	いや、あん KURION か一応、これまでも他社も同じように、振幅の大きさ、
00:43:58	解するっていう話なんですけど。
00:44:00	着目点が振幅ってのは正しいわけですねそれと当然振幅は見れないわけなんでそれをスペクトルで確認しますっていう。
00:44:08	一応いいのかな。はい。
00:44:11	赤間スペクトルの周期ごとの振幅の大きさ、こういう、何が言いたいかというたとえば解放基盤で見たときに、どこかの周期でまさにポコッと何かピークみたいなのが出てるとちょっとこれは何か、
00:44:25	特徴があるなっていうことで選ばなきゃいけない。
00:44:28	ただ、地震基盤相当面ですんなりに違いのないものが解放基盤に上げてそんな違いが出てくるかというまずそんなことはないだろうとは思いますが、そういう場合があったらやっぱりそれを選ぶことになるだろうと。
00:44:40	いう観点で周期ごとの振幅の大きさちょっとそういう表現がわかりいいかどうかはありますけども、無視平たく言うと、何か目立った PEEK なんかが出てきた場合はそれに留意しますよと。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:44:54	いう趣旨ではあります。ちょっと PEEK という書きぶりかどうかなというのあって、ちょっとこういう表現にはなっております。
00:45:02	はい。以上でございます。
00:45:05	はい。
00:45:07	言った。
00:45:08	その結果が最終的には、
00:45:14	そうですね。
00:45:18	差がなく、
00:45:21	最後さがあったのが、と時刻歴明けの最大加速度と強震分の長さという ことで、
00:45:30	これ最後選んだものか。
00:45:34	トラン水槽の方が、を選びましたってということで選ばれた結果はね、い ずれもなんか、ここの辺は何水槽の方が強いんだけどこっちは観測位相 の方がっていう関係ではないので、
00:45:47	選ぶべきものは割とシンプルだと思うんですけど、
00:45:50	あえて星取表にして勝敗表にするかというところまではいいですけど、 ちょっとこう、せっかく表にまとめるのであれば、
00:46:02	何か優劣関係は、その太字なり色なりでパッとわかるようにした方がい いんじゃないですかというですね。
00:46:10	応答スペクトルの比較ではもう多分全く、その両者差がありませんで、
00:46:16	地目歴博円のところで着目点としてる間に点ともその欄水槽のほうが、
00:46:22	ですよ。
00:46:24	水平鉛直とも LAN 水槽を用いた模擬地震はの方が大きいこと、大きい、 或いはその長いですかね。
00:46:31	ここん部分ですね案水槽を用いた模擬審査の方が大きい何水槽を持って いてもいいのが長い。
00:46:37	だから、
00:46:39	ここで差があって、応答スペクトルの方で李さんが、両者優劣ないん で、選びましたと。これ単に見せ方ですけど、
00:46:47	何か一目瞭然にした方は、わかりやすいんじゃないかなと。
00:46:51	いう、これも単に資料の見せ方ですかね。
00:46:55	はい。で、二十七、八はさっき言ったようにちょっと何と何を比較する のかというところでの話で、
00:47:05	なんですけど、あと、これも、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:47:08	1枚でいっちゃうのかなあ、ちょっといきなり27ページで新たな地震動で急に、
00:47:14	来ていて、
00:47:16	これは、
00:47:19	新たな地震。
00:47:21	これが標準応答スペクトルを考慮した地震動評価結果なんです。いきなりちょっと新たなとかって言うては中で出てきている上に、もう判例だとSs6にしちゃってますよね。
00:47:34	わざわざその2ページ来るのか、まず地震動評価結果と既存の比較すべきSsと比較して、
00:47:43	超えたんでこれに、今後Ss6という名前をつけますっていうための流れだと。
00:47:53	ちょっといきなり、
00:47:55	何かもうSSロックって何か急にもう名前がついてしまっていてそれ憶測ってなんだっていうと、これ標準応答スペクトル高齢者地震動評価結果なのねっていうことで、
00:48:07	ちょっと何か複雑のことを、
00:48:10	その最後のSs一覧。
00:48:13	とそのSsとして選定する過程を何か一つにまとめてしまっているような気もするので、
00:48:21	Ssとして名付けるのは、
00:48:24	何ですかね30ページところで最後一覧にしていますけども、
00:48:28	ちょっと何かそこの二段階を一つにまとめてしまってるような気がしますけど。
00:48:32	これも結論として何が選ばれたかっていうところに何か違いは生じないんですけど、
00:48:40	ここも説明していく上でですかね。はい。
00:48:46	あと最後にちょっとこの年超過確率なんですけど30万これ参照ですけどね。
00:48:56	ところ032の、いわゆる領域震源単独の一応ハザードスペクトルの比較と、33の特定震源と領域震源この二つで作った一応ハザードスペクトルとの比較なんですけど、
00:49:13	これは、このも比較対象のこの一応ハザードスペクトルというのは、これは既許可のエアリス何年前だ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:49:23	平成 20 年の時からこれから変わってないっていうか変わる要素がない っていうこと。
00:49:29	ですか。
00:49:31	ちょっと、既許可のときに何をもとに作っていたかという、特定震源 モデルの設定の方は、
00:49:39	まず地質調査結果これは御社のものなんで、多分活断層、敷地周辺の地 質地質構造の評価は多分、調査結果に違いがないので変わりません。
00:49:50	あと地震調査委員会の 2013、
00:49:53	あとは新編日本の活断層がこの三つで、地震関連情報を選びますとかっ ていう当時の説明ですけどね。
00:50:01	なんていって領域震源の方は萩原 1991 垣見 2003、
00:50:07	岸徳町長語ろう。
00:50:11	2 点目ですかね、三つ目が最大マグニチュードで、
00:50:15	被害地震総覧は、幾つかあるのかな地震調査委員会 2009、陸域の震源を あらかじめ特定しにくい地震の最大マグニチュードとかいろいろそのも ととなっているものはあるんですけど、
00:50:30	これは特に、
00:50:32	何か、特に
00:50:34	本社今夏あれかな、地下構造の方で熊本地震とか少し後のものを出して るんですけど、
00:50:42	これ一応、今回のこの領域の中には入ってこないよってその変わらない って話なんですかね。
00:50:51	それでもう単純に、とにかくもう許可の時に開説明したハザードスペク トルをそのまま持ってきましたってということなのか、ちょっとここが変 わる要素がないのか。
00:51:02	もしかしたらその最新
00:51:05	の情報という海域が多分町局が出てたと思うんでああいうものをなんか 入れ始めると、少し変わるという話なのか。
00:51:12	結論として 10 のマイナス何乗から何乗程度っていう一番最後の大きな 結論は、
00:51:18	変わらないということなのか、ちょっとそこを説明してもらっていいで すか。
00:51:32	九州電力の盛でございます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:51:35	今回獵期震源モデルとこっちで比較してございますが、清狩野と木野衛藤。
00:51:42	教育震源モデルにつきましては、領域区分ですとかそういうものは、まず変わらないと考えております。
00:51:48	領域震源モデルの中で使う、確かに熊本地震のですね記録等は取れてると思いますけど、
00:51:54	この
00:51:56	一応ハザードスペクトルのですね、
00:51:58	考慮した場合におきまして、結果は大きく、そこまで言うと、
00:52:03	大きく変わらない、ないのではないかと考えております。
00:52:09	熊本地震の場合はあれですかこの領域の中に、
00:52:15	入る。
00:52:17	入るけど、そんなに一応ハザードスペクトルが、
00:52:21	下は変わらないっていうことですかね。
00:52:25	いずれにしても多分シェア仙台の限界もなんですけど、どこかで長期評価とか最新の情報とかって言って、
00:52:34	長期評価の方ですけどね。
00:52:36	アレイ少し活断層の評価が変わるんだけど、まず基準地震動基準津波はないんだけど、じゃあハザード評価に関係してきますかみたいな話はしまう。
00:52:48	先行で長期評価みたいな大きなものが出ると、まずその申請してというよりも直近何かの申請の折に、常時率としては確認してハザード評価、
00:53:01	2、結果の10のマイナス何乗から何乗ってのは変わりませんよっていう説明までも含めて今説明聞いているんですけど。
00:53:08	ちょっとそこの扱いをどうするのかは、ちゃんと考えてもらいたいかなと。
00:53:14	今の話だと、スペックハザードスペクトルは少し変わるんだけど、結論の中のマイナス何乗から何条に、今回の標準応答スペクトルも含めてですけど、
00:53:24	臨時に入るのは、そこの説明は変わりませんという、
00:53:29	なんですけど。
00:53:31	ちょっとどのぐらいは変わるのかね熊本地震、一応ハザードスペクトル。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:53:36	九州電力の明石でございます。今長期評価も含めてというお話がありました。何か借家の申請のタイミングで、最新の、
00:53:46	知見データを踏まえてというお話もありましてで、まずちょっとこの一応ハザードスペクトルのところ実態といたしましては、棄却許可の時から変えてないというのが今こういう実態です。
00:53:58	これを熊本地震或いはその他あの周辺で発生している地震もありますので、それを踏まえて当然データ更新うばらできるので、我々も見てみてはいますが、
00:54:09	もう、
00:54:10	変わったかわからないかわからないぐらいの値にしかないというのが実態でございますので、だったら変えればいいじゃないかってのはあるんですけど、何を我々考えたかという、
00:54:20	結局それで滑っている最新のデータに更新をし始めると、特定する方の話から脈々と微小地震分布を調べてどうのこうの手を変えてご説明してるところがありまして、
00:54:32	それをすべて変えにかかるとこれ非常に大変な作業。
00:54:37	になって参りますので、ちょっと待って、どこで線を引くかというのをもう悩みに悩んでいて、
00:54:44	結果ちょっと損要は、
00:54:48	どこで線を引くかっていうのが非常に判断が難しいところがありましたので、もう今回はちょっとそこまで
00:54:54	踏み切らないと判断したという言い方おかしいですけども、もうちょっとデータについてはもう既許可のときのデータを用いてそれに対して、今回の新たなやつがどう見えるかという。
00:55:06	お示しの仕方にしたというのが実態でございます。ただ、
00:55:10	長期評価も含めて例えば活断層評価の方、
00:55:15	もう推本だけじゃなくってす産総研っていう話もちらっとあったかと思えますけどもその辺も、最新の知見データを片っ端から洗い始めるとこれはこれでまたちょっとすごい話になってくるので、
00:55:30	ちょっと、
00:55:31	どういったものを長期休暇当然お話しなきゃいけないんですけどもじゃ、そんなどこで線を引くかっていうのをちょっと整理をさせていただいて、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:55:41	考え方をご確認すり合わせをさせていただかないと、ちょっとここ、ほいほいとデータ更新しますしませんっていうやりとりじゃなかなかちょっとわかりにくいかと思いますので、
00:55:53	ただ実態としては先ほど申し上げた通りでございます。
00:56:01	はい。
00:56:02	ちょっと申請書上の扱いと、いずれにしても、
00:56:07	SARとかだとかこういうのもなんかハザード債務のハザードカーブの方は、
00:56:12	出してるんですかねそっちの別にあれは申請書では全くないので、定期的に出すところで、多分このハザードカーブを使ってる、
00:56:22	多分プラント安全性への影響って意味で、事故確率とかそっち側の方にも使うんだと思うんですけども、
00:56:28	ちょっとその扱い裏はちゃんと下を噛まないようにしておいてもらいたいところですね、いわゆる、ここでどうするのかって話と、長期評価の方はどこかで、
00:56:39	説明を聞くので、その時にどういう説明を
00:56:43	それ当然アップデートされるんでその情報はプレーとする。
00:56:47	その時2 ちょっと熊本地震もアップデートしたものを載せるのかどうかとか、
00:56:52	はい。おっしゃってる趣旨は、多分、今、標準応答スペクトルの地震動評価っていう項目を、
00:56:59	申請書上標準を取って取り入れた形で特定せずの部分を変更しに行くときに、
00:57:06	被害地震だとか何だとかっていうところも、1から全部変えに行くかどうか。
00:57:14	そうですね。そこに手を出すかどうか。
00:57:17	どこで線を引くかって言って、町教科だけとかっていうと、それはそれで
00:57:23	せっかくだからみたいな話を始めると、きりがないうちゅうこと。
00:57:27	はい。いずれにしても、じゃあ、
00:57:29	ちょっとそうですね、うーんとはいえ、
00:57:34	これも、
00:57:36	許可のところでは行きはない。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:57:40	これが最新のものでも、申請書に反映する壁等最新のものでも、このハザードスペクトル、或いはその結論に、
00:57:48	影響はないっていうのは、これはそうとも出せるわけですね。ただ扱いとしてそのどっちを正として最後、説明するかというところで扱いがちょっと難しいんですとそういう話ですか。
00:58:02	はい。
00:58:09	ですね。
00:58:10	それはまず1点事実としてこれは既許可の時のものをそのままと。
00:58:16	いうことで、
00:58:23	自由の前、これ、
00:58:25	10--5-6、ちょっとこれもですね、多分、もともとのオリジナルのファイルだと割と見やすいのかもしれないんですけど、
00:58:37	ちょっとこの一様ハザードスペクトルと、あと留萌鳥取、さらに言うと一番目立っての加藤スペクトルなんですよねこれ。
00:58:44	黒点線で副測定。
00:58:47	何かこう、比較したい、対象と比較したいのは標準応答スペクトルのSs6で、
00:58:53	それを一度ハザードスペクトルと、
00:58:56	比較したくって、さらにその同じだと10--から-6で聞こうかの評価結果と同等で、
00:59:06	言っているのが多分ルームをとっており、
00:59:10	三つS4、
00:59:12	冒頭、
00:59:13	4とS5ですかねこれとの傾向と比較してっていう説明を、
00:59:19	したいんだと思うんですけど。
00:59:22	いかんせんちょっと何か加藤スペクトルが一番目立ってしまっていて、
00:59:25	もうちょっとここで、多分これコピーにコピーを重ねたりしていくと、
00:59:31	これを元にですねさらにご説明したりしていくと、ちょっとどれとどれが見りゃいいんだらうっていうのは、ちょっとわからなくなるので、もう少しここは
00:59:39	その線の凡例とかですね色とかですねちょっとこれで、わかりやすくしていただきたいなというのが、すいませんこと、次の30、33も、
00:59:52	一応ハザードスペクトルの線が大分、
00:59:56	着て隠れてしまってるので、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発音者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:02:09	期間の時はなめてるよと全周期にわたってこう分布してる、おおよそのところをとって、一部定周期体まで出てるものようなものはその10のマイナス6乗とかですね。
01:02:21	そんなものをとってございます。今回標準応答スペクトルを考慮した時に大体一部長周期では、そこまでいかないものもありますけど、許可本、見方とは大きく変わらないと。
01:02:33	というようなご説明となっております。
01:02:38	はい、ありがとうございます。
01:02:40	あとは、参考の方
01:02:43	一応評価を、
01:02:46	試してみても Ss6 で作っているものと、もともと途中段階ですかね設定した地下構造モデルで、
01:02:56	と比較をして、
01:02:58	加速度と周期で、
01:03:01	比較してみると
01:03:03	いう数 Gal ですかねはい。
01:03:06	これはもともとそんなに大きな違いは出るか出ないかという、
01:03:12	ところなので、こんなもんですかね。
01:03:15	はい。
01:03:18	すみません。ちょっと一通り 026 の方は駆け足で行きました。
01:03:24	後でも結構ですけど、何か今のうちに、
01:03:28	026 で確認しておきたい点ある方いたら、なければすみません 20 名の方の、
01:03:34	既許可地震動評価への影響確認の方いきますけど、
01:03:43	はい。
01:03:48	はい。
01:03:49	はい。
01:03:50	それでは既許可の、
01:03:52	門司新藤
01:03:55	評価結果 027 の方ですかね。
01:04:01	うん。
01:04:02	もともと、結論としては清川の方との関係とそんなに行きはなさそうだっていう、ある程度の
01:04:10	見込みはあるんですけど、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:04:13	ちょっとこう説明ぶりとか資料のつくりとして一応これす率だっていうこれは10月ね。
01:04:21	7日だったかな。
01:04:22	一旦新しい地下構造モデルの位置付けで、その許可ではこういう使い方をしてたんで、従ってただ今回は聴取全周期体にあたって作るのという説明を多分してたと思うんですけど、
01:04:38	その時の説明だとまずハイブリット。
01:04:42	土嚢を周期1.33秒で接続したハイブリッドで使ってますと。
01:04:49	そのハイブリッドのものよりも経験的グリーン関数法の応答スペクトルを上回ってましたっていう話と、またその経験的グリーン関数のその妥当性確認として統計的グリーン関数法で前、
01:05:03	対応、評価しても妥当性確認今使ってますっていう流れだったんで、
01:05:07	一応ちょっとその説明と、
01:05:10	合うようにというか、進めてカバーするようにしていただきたいのですが、
01:05:18	ちょっとまず2ページ3ページ。
01:05:21	ホームページで一定のまずあれですよ経験的グリーン関数法と、
01:05:26	理論的手法の、
01:05:29	地震動評価への影響と、
01:05:32	書いているんですけど、
01:05:37	ちょっと3ページに出てるのはいきなり
01:05:43	何ですかねこれワー、多分経験的グリーン関数法プラス理論的手法ではなくて理論的手法のやつをペロッとつけた状態になっていて、ちょっといきなりちょっとそこ飛んでしまっていてですねまず外どういふもともと、
01:05:58	ハイブリッドと、多分経験的グリーン関数法の地震動評価結果があって、多分それを比較してって使い方をそもそもしている。
01:06:09	まず、何かこういう使い方をしてこの部分で使ってます。
01:06:13	その部分のもとになっている理論的手法があるんです。3ページで、
01:06:20	この3ページにある図から、ある、その周期体よりも長周期側のものを、
01:06:26	このハイブリット経験的グリーン関数をプラス理論的賞括弧ハイブリッドを製法で使ってますって、多分そういう関係性にあると思うんです。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:06:37	ちょっといきなりなんか3ページの項目だけペロッと出されている。あれこんなものを、
01:06:43	評価の時の頻度評価で、このまま使ってないですよねというのがあるはずなので、
01:06:48	間がちょっと飛んでしまっているんで、
01:06:52	一応これ一。
01:06:54	多分、確か去年の10月の説明だと周期1.33秒以上を一応徴収期待と言っていて、
01:07:06	という何か話があったはずなんでちょっとそこが、
01:07:09	抜けてしまった。
01:07:11	ている。
01:07:12	最後多分許可の地震動評価への影響っていうと一番最後論としては、最後経験的グリーン関数法が、
01:07:20	ハイブリッド合成法を上回ります。
01:07:24	なので、経験的グリーン関数法そこで S_s を決めて、 S_{s2} と3が決まっているのかな。
01:07:29	その結果には影響がない。
01:07:31	それをどの手前の段階で抑えに抑えているかっていう論理だと思うので、
01:07:37	ちょっとまずそこをまずですね、いきなり何か3ページのこの図だけぽんとされると、
01:07:43	ちょっと違和感がある。足りないというんですかね。
01:07:46	これまで、いきなりこれまでの経緯を、許可の資料を横に置いて見ながらですね、の会合で話を聞いている人わかるんだけれども、いきなりこれだけ出されると、
01:07:58	何だこれは、
01:08:02	はい。九州電力の本村です。今日の本日の資料については、理論計算の結果をぽっとで出しているところがありますので、ちょっと10月の会合でも、お示ししたことをですね、ちょっと踏まえて
01:08:14	ちゃんと流れがわかるようにちょっとまとめたいと思います。よろしくお願いします。
01:08:21	はい、ありがとうございます。もう1個の②ですかね統計的グリーン関数法の地震動8日への影響確認。
01:08:31	ということなんですけど、
01:08:33	こっちは逆に何か結論が、経験的グリーン関数法の

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:08:38	評価。
01:08:39	結果の妥当性は変わらないというふうに言っていて、
01:08:43	何か結論からすると、
01:08:45	表表題は、何か統計的グリーン関数法の地震動評価への影響計画じゃなくて、
01:08:51	どっちだというのは、これは椎野氏瞬間で固まってしまったので、
01:09:00	何か最後ケアのわかります。2ページとかでもいいですし最後までいいんですけど経験的グリーン関数法の評価結果の妥当性が変わらない、これが確認できましたと言ってるんだけど、
01:09:11	表題はその途中の、多分統計的グリーン関数法の地震動評価結果への、
01:09:16	影響が、
01:09:18	ないことを確認しますと言いながら、もっともっと先の経験的グリーン関数法の評価結果の妥当性の、
01:09:25	あれが変わらないって、多分もう一段先ですよ。
01:09:29	どっちを説明したいのかなというのが表題等結論とで、
01:09:35	はい。九州電力の本村です。確かにツーステップありまして統計的グリーン関数法で今回のモデル使ったものがあまり変わらない、許可の時統計的と変わらないんで、最終的にはもともと来先ほどありましたけど、経験的グリーン関数法の中で、
01:09:52	基準地震動 Ss-23 に採用してるものもありますので、それを Ss-2 の3ユニット3の妥当性確認というところが、最終ステップだとは思いますが、
01:10:03	ちょっとそこら辺のですねちょっと流れがよくわからないところになってますので、ちょっと説明を加えたいと思ってます。
01:10:12	はい。ありがとうございます。その時にですね5ページ6ページで、
01:10:18	最後の Ss23 の、
01:10:23	えーと、
01:10:24	経験的グリーン関数法で策定、作っているの、2の Ss-D と3、これの、
01:10:30	妥当性の確認ということで、今回
01:10:35	5ページのところでいくと、今回という二つ工場がありますよね。
01:10:42	非許可のときどうしてましたかっていうのが一つ目で二目今回とって、
01:10:47	青線で標準音スペクトルも出しました。で、緑線の、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:10:54	許可の時の統計的グリーン関数の結果があって両者が、
01:10:59	概ね、
01:11:02	概ね通っとうここはちょっとどこまでの差概ね同等というかにもよるんですけど、最後の結論は経験的赤線。
01:11:11	に対して、その関係性に総合的に大きな変化はなく、
01:11:17	と言ってこの総合的ってのはそのどこからどの範囲までの間周期だったり程度だったりのことを言っているのかなあというのが、これ全周期体に渡って、
01:11:28	ということを、
01:11:30	おっしゃりたいのか、ただ説明なかったんですけど7ページ8ページには何か許可のときの、統計的グリーン関数法による地震動評価と、さらには、8ページの一番下ですかね。
01:11:43	何かこう、
01:11:46	経験的グリーン関数法評価結果とのなんか比較。
01:11:50	ここだと何か長周期側において、統計的グリーン関数法による評価期間を上回るといって、
01:11:57	何かあまり短周期側は見えないような書き方になってたり、
01:12:01	ちょっとこのあたり、
01:12:04	うん。
01:12:04	どういう比較の仕方をして妥当だと言っていてそこに違いがないと言ってるのかが、
01:12:10	何か総合的にコピーが総合的になって言ってるので、何か全周期体にわたってだとすると、
01:12:16	何かで大山南の方は、
01:12:18	多少短周期側ですかね、
01:12:23	0.1秒ぐらいまでですかね短周期側の方は、ちょっとちょうど経験的グリーン関数法の $Ss2$ をですね跨ぐような形で、
01:12:33	今回のものとその許可の方が、
01:12:36	スペクトルがあったりですね。
01:12:38	この辺までを含めて、
01:12:41	こういうものはあるんだけど総合的にと言っているのか。
01:12:45	ちょっと許可の時にも、
01:12:47	この範囲でこう妥当だと言ってたのかな。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:12:50	あんまり短周期側を見ていなかったのか、いや許可の時にも全周期タイガーで渡って何か妥当性確認をしたんでしたっけ、ちょっとこれが許可の方が抜粋なんでですね。
01:13:01	どういう使い方をしていて今回、その部分に対し、
01:13:06	どう確認したのかが、
01:13:08	この資料見てもわからなかったんで、
01:13:11	ちょっと教えてもらっていいですか。はい。九州電力の本村です。許可の時、ちょっと抜粋というところもありますし、ちょっと当時も、あまり明確に書いてないところもございますけども、もう基本的にその経験的グリーン関数法について、統計的グリーン関数法、
01:13:30	要は短周期 2 社、短周期側に着目して丹関の地震動レベルを確認するところ、あったかなというふうに、を考慮しております。
01:13:41	で、さらに短周期側でトントンだというところで妥当性確認を当時してたわけですけども、こちらのこの 8 ページの記載については、最終的に経験的グリーン関数法を Ss に選定していると。
01:13:54	いうところもありまして、長周期側に着目すると統計的より大きかったというところを記載させてた、いうところかなと思う。
01:14:04	出ます。
01:14:05	あと、は 5 ページ目ですかね、概ね同総合的に大きな変化はなくというところですけど、こちらについては
01:14:18	短周期が、さっき 1.33 秒という話がありましたけども、それより短いところを見た時の話。
01:14:26	かなというふうに我々思っております。で、その 1.33 秒より短いところを見た時に、例えば竹木場断層、5 ページの NS 方向になりますけども、
01:14:41	こちらについて、
01:14:43	もともと許可時審査の時は赤と緑が短周期側はごく短周期ですね 0.02 秒のところ見てもらうと、とんとんだったのが今回の評価で青線が下にいてると。
01:14:56	ちょっと間経験的グリーン関数法るちっちゃくなってるんだけど、0.2 秒、0.1 秒、0.2 秒じゃないすいません、0.2 秒と 0.5 秒の間のちょうど真ん中ぐらいの周期体については、
01:15:10	確かに今回、青線が、次、ちっちゃくなる傾向にありますけども、もとの経験的グリーン関数法に比べたら、大きい方になる、大きい

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:15:21	結果になってると、そういうところを見ながら、総合的に大きな変化がないというふうに我々判断しております、最終的には経験的グリーン関数法の評価結果の妥当性というのが、
01:15:33	変わらないと、行われるものではないというふうに考えているところでございます。
01:15:43	はい。もともと、何かことさら8ページの下に書いてあるような、
01:15:50	全体としてまず傾向として、もともと許可ですよ経験的グリーン関数法のものと当経歴林間するのと、
01:15:58	全体としてまず大きな違いはなくて、ここに書いてあるのは特に低周波側、長周期。
01:16:05	側の方では、その経験的グリーン関数法がより、ここは顕著に明らかに大きく出てますと。
01:16:13	それ以外のところも別に無視していた、比較してたわけではなくて全体としては
01:16:18	暗たん式は同じですと。
01:16:23	そういうことです。
01:16:27	はい。ちょっとここも何か今日の説明だと、七、八は何かあんまりその使ってる設備に使ってるのか使っていないのかがよくわからなくてですね。
01:16:37	最初はこの7ページ側の方の統計的にクリーン乾燥に地震動評価の簡単な方法が書いてあったので、この方法を同じ方法で、
01:16:47	今回の青線を引きましたっていうのはそんな説明をしたいのか。
01:16:51	何か当時の比較の仕方、
01:16:54	七、八に書いてあって、どういうことで経験的グリーン乾燥による地震動評価の妥当性が、
01:17:01	どういう比較の仕方確認できたので、その結論は変わらないってことを5ページで言いたいとかですね。
01:17:09	そういう使い方したいのか、ちょっとどっちの使い方したいんだろうな。ここもよくわからなかったんで、
01:17:15	これも前回10月ですかね、の時に説明してた。
01:17:20	説明、それに合うようにちょっと資料を、
01:17:23	作っていただきたいかなという、これ注文ですね。
01:17:27	結論として、当然ながら短周期がよりちっちゃんなるはずなんで今回の地下構造モデル使えば、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:17:34	もともと比較で妥当だと言ってたものが、短周期がより小さくなりましたが、経験的グリーン関数による地震動評価の結果何か、そこで疑義が生じるかって多分生じないので、
01:17:47	結論はこういうことなんでしょうけど、
01:17:51	これまでどういう説明してその説明の、
01:17:55	に対して、今回言いたいのがちょっと、もともとのものですね、ずつついてるとわからないので、
01:18:02	これ10月の説明ですね、こういう使い方をしていましたっていうのに合わせて、結論付けてもらいたいかなど。
01:18:12	はい。そういう注文です。
01:18:14	これは、あと、
01:18:17	これはどうするんですかね何か、地下構造の方の資料を見ると地下構造の説明の中に入ってるようにも見えるし、ただ地下構造って実は4月の会合で、
01:18:28	もしですよ、まとめが終わってれば、
01:18:33	あそこに後から出すっていうのは変な話だったんで、
01:18:36	これはどっちに地下構造の方に入れるて説明性ですかそれとも何かこう地震動評価の参考に、
01:18:44	五味神伴の作成及び基準地震動の策定の、これの後に何か参考でつける。
01:18:50	ちょっとそれもどっちに付けるかは、また次のヒアリングまでに考えて、
01:18:56	はい。
01:19:00	これは今日の話なんで、これも何か今聞いておきたい方はいなければちょっと地下構造に、
01:19:06	説明行ってもらおうと思いますけど。
01:19:10	いいですかね。
01:19:11	すいません、後半土屋地下構造の、
01:19:15	設定ということでちょっとこれかなり分厚いですけど、前回会合から特に変えた今回コメント回答という形に該当するような部分ですよ。ちょっとそこを中心に説明してもらっていいですか。
01:19:27	はい。九州電力の本村でございます。それではTPG028に基づきましてご説明させていただきます。早速ですけども、
01:19:38	5ページ目を開いていただいて、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:19:40	よろしいでしょうか。
01:19:42	こちら、14番と15番ですね、コメント回答ということで、まず、ナンバー14ですけども、上下動の一部の観測記録との整合要因と、モデルへの反映要否についてなんですけども、まずモデルへの反映要否について、
01:19:59	96ページをお願いいたします。
01:20:11	19地震の応答スペクトルの比較における、上下方向の一部の下、地震観測記録、例えば、88ページの③の熊本県熊本地方の地震等の収益、0.2秒から0.4秒付近におきまして、
01:20:29	スペクトル形状、凹凸の
01:20:34	わずかな差異により、応答は局所的に観測記録を下回っておりますが、一方で、下の図、96ページの下の図のPS検層モデルと設定した地下構造モデルの伝達関数、
01:20:47	解放基盤表面とEL-200メートルの比ですけども、これを比較した結果、当該周期体、0.2から0.4秒付近において、
01:20:57	設定した地下構造モデルが上回ることを確認しておりますので、解放基盤表面EL-15メートルからEL-200メートルまでの範囲における、地下構造モデルの妥当性に影響はないと判断しております。
01:21:13	観測記録と、
01:21:15	観測記録との不整合の要因については、ちょっと飛びますけども、134ページから、
01:21:22	なりますけども、
01:21:29	こちらの補足④ですかね、こちらで示しております。こちらの、これ以降のページ、4月の会合で示しておりますが、
01:21:40	まず136ページの伝達関数の図、それと137ページ、138ページのEL-17メートルメートルとEL-90メートルの観測記録の比較をもとに、
01:21:56	135ページ。
01:21:59	になりますけども概要をまとめてございます。
01:22:02	スペクトル形状の、わずかな差異により応答は、局所的に観測記録を下回るようについては、136ページの伝達関数から見てとれるように、
01:22:14	地下構造モデルが観測事実に整合しているためというふうに考えてございます。また、スペクトル形状の生成要因について137ページ、138ページで震度別の

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:22:28	応答スペクトルで、スペクトル形状の凹凸は、PL-17 メーターでも、EL-90 メーターでも見られるため、
01:22:38	この凹凸の生成要因は、EL-90 メーター以深にあり、浅部の地下構造モデルによるものではなく、震源特性等によるものであると考えております。
01:22:51	最終的なモデルへの反映要否については、先ほど 96 ページでもご説明しましたが、改めてですね 139 ページ、
01:23:02	に示しております通り、
01:23:06	PS 計装モデルの伝達関数との比較から、上下方向の 0.2 秒から 0.4 秒付近では、設定した地下構造モデルが上回ることを確認しております。
01:23:18	上回る要因については、補足的に説明を加えておりますが、
01:23:24	設定した地下構造モデルには、いえる前那須 200 メーターに速度コントラストがあるのに対しまして、PS 検層モデルでは、実地盤の状況を考慮すると、
01:23:35	コントラストがないため、設定した地下構造モデルの方が、上回るということを記載しております。
01:23:42	このコントラストによる影響に関する検討については、ちょっと戻りませうけども、
01:23:49	120 ページ。
01:23:51	からの、
01:23:53	補足の③に記載しております。
01:23:57	121 ページに検討概要を記載しております。
01:24:02	速度コントラストの影響検討として、122 ページ。
01:24:09	以降で A から C の検討をしてございまして、128 ページ。
01:24:17	になります、
01:24:21	計算の境界条件、EL-200 メーターでの速度コントラストの影響により、一部の周期体、水平方向で 0.5 秒付近、上下方向で 0.2 から 0.4 秒付近において特徴的なピークが生成されると。
01:24:37	いうことを確認しております。
01:24:39	この三つの A から C ですね、三つのモデルで影響検討してございまして、最終的な PS 検層モデルとして、速度コントラストをなくしたモデルを設定した。
01:24:53	根拠としましては、129 ページから 131 ページに示しております。速度層断面では、EL-200 メーター以深まで、③速度層、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:25:06	が分布しておりまして、EL-200 メーター付近で速度構造が大きく変わらないこと、それと、132 ページから 133 ページに示しております。文献調査の結果、
01:25:21	佐世保層群は少なくとも、厚さ 1 キロ程度以上と推定されることから、EL-200 メーター付近で地質地質構造が変わらないと。
01:25:32	いうことも含めまして PS 検層モデルとして、実地盤に近いと考えられる
01:25:40	B のケースですね。
01:25:42	そこの B の速度コントラストをなくした場合の、地下構造モデルを設定することとしております。
01:25:49	これを踏まえましてまたちょっと戻りますけども 92 ページ。
01:25:55	お願いします。
01:26:00	こちら 92 ページ以降の地下構造モデルの妥当性確認の (2) 、PS 検層モデルとの比較による確認では、
01:26:11	実地盤の状況を踏まえてコントラストのない PS 検層モデルを用いて、
01:26:17	実施しております。
01:26:19	で、結果としましては、95 ページに示しておりますが、こちらを元にですね、妥当性確認をしております。
01:26:30	続いて、すみませんまた、5 ページ目のコメントリストに戻っていただきまして、
01:26:39	ナンバー15 のコメントになります。9、12.5 から 96.7 に見直した場合の比較結果、観測記録でどのくらい地震動レベルが増大するかということ、
01:26:53	100、飛びますけども 140 ページ、
01:26:57	お願いします。
01:27:01	こちら 140 ページからの補足⑤になります。
01:27:07	計算の方法につきましては 141 ページになりますけども、EL-90 メーターの地震観測記録を EL-200 メーターまで、
01:27:17	Q=12.5 のモデルで引き戻し、92.5 のモデルと 96.7 のモデルを用いて、解放基盤表面の応答はそれぞれ算出し、
01:27:30	最大加速度と応答スペクトルを、両方で比較します。
01:27:35	最大加速度の結果としましては、142 ページに示しておりますけども、最大加速度で、
01:27:45	最大 9.9 ガル。増大しております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:27:49	また、応答スペクトルの比較を、143 ページから示しておりますが、わずかですが、増大していることが確認してございます。
01:27:58	この結果を踏まえまして、本編の方になりますけども 98 ページ、お願いします。
01:28:09	こちらのところの、二つ目のポツですね。
01:28:12	の※書きのところ、※書きの中の 2 行目ですね、地震観測記録の最大加速度で数ガル程度増大するということを記載しております。
01:28:27	で、このページになりますけども、
01:28:33	Q 値の見直しの話、12.5 を最終的に 16.7 にした理由についても、資料に明記するよう、コメントをいただいております。
01:28:44	これについては同じ 98 ページのところになりますけども、理由については一つ目のポツのところの二つになります。
01:28:54	一つ目のバーで EL-90 メーターから EL-200 メーターまでの範囲は、地震観測記録がえられておらず、相対的に信頼性が劣ること。
01:29:06	それと、二つ目のバーで標準応答スペクトルを考慮した地震動にさらに余裕を持たせることで、安全裕度の向上を図ると。
01:29:16	これを踏まえて、 $Q=12.5$ から 16.7 に直しております。
01:29:23	続いて、 $Q=16.7$ に見直した標準応答スペクトルをモデルの妥当性確認として 99 ページになります。
01:29:33	標準応答スペクトルをモデルを用いて PS 検層モデルとの比較を実施しております。
01:29:40	101 ページがその結果で、Q 値を見直す前と同様の結論ですけども、PS 検層モデルに対して同等もしくは上回ることを確認してございます。
01:29:53	この $Q=16.7$ への見直しに関連しまして、ともさ他の A ブロックインバージョン結果を用いた確認においても、 $Q=16.7$ の標準応答スペクトル用モデルでも、実施してございます。
01:30:09	また、少し、かなり飛びますけども、204 ページ。
01:30:14	からになります。
01:30:18	204 ページから 218 ページまでになりますけども、 $\zeta=12.5$ のモデルと同様の構成で資料を追加してございます。
01:30:30	次にですね、コメントリストにはありませんけども、全体の構成に関しまして、すいません。一番最初の 1 ページの目次のところになりますが、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:30:42	こちら見ていただきまして、4月の28日の会合ではですね、3ポツ、地下構造モデルの設定のところ、3.1の設定方針の
01:30:55	後、すぐに地盤減衰の設定に入っておりましたが、今回新たな地下構造モデルを設定するということですので、速度構造密度についての設定について3.2のところ追加しております。
01:31:10	また、地盤減衰のところ、
01:31:14	についてもですね、
01:31:18	EL-200メーター以前の設定のみでしたけども、
01:31:24	1ページの下ですね、3.3.3のところ、EL-200メーター以深の地盤減衰の設定について、追加しております。
01:31:34	具体的にはですね、速度構造密度のところになりますけど26ページから、3.2の速度構造密度の設定になります。
01:31:44	もともと参考資料の方にあった清鍛冶の設定根拠を、本編側に入れ込んでおります。
01:31:53	また、清加治において深いところまでの速度構造について、微動か、微動アレイ観測により確認を実施しておりますので、
01:32:03	清鍛冶審査の資料から抜粋したものを、
01:32:07	今度30ページから
01:32:10	32ページですかね、に追加をしております。
01:32:15	続いて先ほどのEL-200メーター以深の地盤減衰の設定ということで、こちらちょっと飛びますけども、78ページ。
01:32:28	になります。
01:32:32	EL-200メーター以深の地盤減衰については、慣用値をもとに設定しております。地震調査委員会2007でも、Q値が設定されて、
01:32:43	おりますが、この値とも整合することを確認しております。
01:32:49	で、最終的に、79ページになりますが、地下構造モデルの設定ということで、まとめてございます。
01:32:58	これらの速度構造、地盤減衰の設定について追加しましたので、
01:33:05	前に戻っていただきまして24ページのところですね。
01:33:10	ここに、速度構造密度、地盤減衰の設定根拠についてまとめるページを追加しております。
01:33:18	以上、ご説明させていただいた内容を踏まえてですね、9ページから12ページの地下構造モデルの設定の概要に、同じような記載をですね、
01:33:30	反映しているところでございます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:33:33	すいません。飛び飛びになってますけども、地下構造モデルの設定についてのご説明は以上でございます。
01:33:46	はい、説明ありがとうございました。
01:33:53	そうですね、ちょっとこっちの地下構造モデルの方も今回だから地下構造モデル全体を再度説明するという、
01:34:02	ことでもあるんですけど、
01:34:03	一応2点ですかねそのコメント回答があるので、普通に
01:34:08	コメント回答って、まずコメント回答方針だったりコメント回答概要が、
01:34:14	冒頭にあって、
01:34:15	当然詳細な説明で非常にあるので、
01:34:18	第何章で、ここでコメント回答、詳細はありますっていうのと、ちょっとそのコメント回答。
01:34:26	今だと、資料なんか捲っていくとどこかにコメント回答らしきものがあるのでコメントにどう回答してるかっていうのは、その説明を口頭で聞いてくださいまするので、
01:34:37	それはちょっとコメント回答というものが冒頭につけた上でですね、あとかなり資料も大分になるので、参考と角の紐付けはいいんですけど、これも工夫で、最初の概要部分ですかね。
01:34:49	これ多分2ポツの概要が、それぞれ3ポツ3.13. 23.33. 4と多分それぞれ、
01:34:56	一行ごとなのか、ちょっとずつ対応関係があるわけですよ。
01:35:01	何かそれも、
01:35:03	概要書くんだったらこの詳細はだから3.1章、この詳細は3.2章です。3.3-1ですとか、
01:35:10	対応関係があると思うんです。
01:35:13	あるはずなので、概要であるからして、
01:35:17	ちょっとそういうものはかなりこういう分厚い資料の場合は、
01:35:21	後ろ等の各論との関係をもうちょっと明示的に書いた方が
01:35:29	短時間で読むには、わかりやすいかな。これ多分資料作り全体の話ですと、
01:35:38	ちょっと待ってくださいね今回置き換えてのコメント回答の一行目、ナンバー14の回答ですかね90。
01:35:48	ページから、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:35:54	この関係で、もともとのその PS 検層モデルとの比較。
01:36:01	による妥当性確認で一応前回の会合のときには、
01:36:06	ど、
01:36:08	地下構造モデルと PS 検層モデル、こちらも
01:36:13	-200 のところの速度コントラストをとっぱらって、
01:36:18	両方ともコントラストがないもので比較をして、
01:36:21	同等もしくは上回るみたいな説明だったんですけど、
01:36:27	そこは、
01:36:28	今回、
01:36:32	その返ってきてますよね。
01:36:35	地下構造モデルは速度コントラストあり、PS 検層 5 では近くをコントラストなし。
01:36:41	ていうふうに変えてきて、これ変えてきたんですよ。
01:36:46	変えてきた根拠は、
01:36:49	あんまりその前回、
01:36:50	PS 検層モデルとの比較、EL-200 メートルまでの、
01:36:57	地下構造モデルの妥当性そのものの説明の時には、
01:37:04	何かこれって速度コントラストありと速度コントラストなし同士で比較した方がいいじゃないですかと。
01:37:10	あまりそういう議論はなかったと思うんですけど、どちらかってのは観測記録ですかね上下動の。
01:37:16	あの時にその上下動の観測記録の関係でこのいっばいいくつかその PS 検層モデルと比較したような結果とか、
01:37:27	伝達関数の図が、-200 から浅いところですね伝達関数があるけどどれ見りゃいいんだと、そういうやりとりがあったと思うんですけど。
01:37:35	今回だからこれ、PL-200 より浅いところの地下構造モデルの妥当性をどれで、
01:37:42	再度言いますかっていうそこ変えてきたわけですね。
01:37:46	D 層も、
01:37:49	説明なぜそこを変えられるのか今回、
01:37:53	というところが、
01:37:55	またこの補足に飛ぶのかな。
01:37:59	ちょっとこれまで補足に飛んだり戻ってきたりするので、
01:38:04	どこだ。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:38:07	100、
01:38:09	728 からになるのかな。
01:38:18	もそうなんですよね。一応その、
01:38:21	－PS 検層モデルの設定とって、
01:38:26	あんまり麻耶子
01:38:28	上下動との関係でいくと PS 検層モデル云々は、
01:38:32	実は関係がないのですが、これは高 PS 検層モデルの設定の仕方として、
01:38:38	ちょっとこれまでとは違いますと。
01:38:41	一つあって一つ目が、－200 よりも以深まで、③速度層が分布ってこれは何か今回新しく。
01:38:51	何か追加でより深いところまでのデータが出てきたわけではないですよ ね。
01:38:56	200 メートルから 210 メートル 20 メートルぐらいまで、
01:39:02	一応速度層としては、これまでの
01:39:08	まあ S 波速度ですかね。
01:39:10	これが、何かこのあたりで急激に変わってるものはありません。
01:39:16	と言っていて、
01:39:19	もう一つが、
01:39:22	これも佐世保層群があってもこの辺りだと思う上 2 キロぐらいまでとい う、
01:39:30	話が、
01:39:32	あるので、
01:39:35	そうするとこの PS 検層モデルの方は一応マイナス 200 メートルのこと まで VS1600 ですかね。
01:39:43	ぐらいだったんで、これが当分そのもっと深いところまで続いていきま すという、そういう説明なんですかね。
01:39:52	片やそうするとどこだったかな。多分地下構造モデルの速度層の妥当性 の説明というのが、何台、微動アレイとか何か使ったような解説が、
01:40:03	サーン 20 何ページ目ぐらいから、
01:40:08	あってですね。
01:40:10	この辺見ていくと、
01:40:11	30 ページか。
01:40:13	微動アレイ、ちょっとこれも、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:40:17	-1000 から -1800 のところの、
01:40:21	この井戸は 0 と地下構造モデルとの Vs で動く、1000 数百。
01:40:28	/sec メートルパーセクぐらい差はありますけども、ちょっとそれを一旦置くとして、
01:40:33	一応この
01:40:36	佐世保層群に相当すると考えられる Vs2100 の層が約 1 件まで分布しておいて、
01:40:42	出るので、何かその PS 検層モデルの方は、何かずっとこの佐世保層群よりも少し遅いものが、
01:40:49	もっと深いところまでですね、1 キロまでとは言わないのかもしれないんですけども、
01:40:53	まだ続いているという説明なのか。
01:40:57	どこかで当然帳じりを合わせるようにですね。
01:41:01	オフィスが早くなると、佐世保層群だったりさらに行くと -1.8 キロまで Vs3 キロまで、
01:41:08	もっと早くなりますと言ってるんで、
01:41:11	ちょっとこの説明と何かマッチしているのか。
01:41:16	何なのかというのがですね、からなくてももちろんその PS 検層のやった結果 PS 検層モデルの範囲内、あそこは、
01:41:24	きっちり測定できているもので
01:41:28	速度コントラストスキルに地下構造モデルはコントラストがある方でやりますと。
01:41:34	他方で、
01:41:37	全体として見るとどこかで速度コントラストを設けて、早くなってないとおかしいはずなので、
01:41:45	何か問題問題じゃないかな、少しそういうところをそこ深いところに、
01:41:51	物を預けてですね、-200 より浅いところでは、いやこれだけ。
01:41:56	地下構造モデルの方コントラストを設けて片やコントラストなしなんでこれだけ保守性がある、いいですよと。
01:42:03	いう見せ方としては見せれるんですけど、
01:42:06	結局、どこかで多分速度コントラストがより大きいものがより下にないとおかしくなってしまうと、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:42:13	その部分ってどうやって帳じり合わせてるといのかカバーできてるっていう説明をしているのかっていう、この関係がよく見えなくてですね、もともとその Es -- いえる前角谷区より、
01:42:27	から - 1800 までですかね。
01:42:29	50 だったかな。
01:42:31	より地震基盤相当ので、
01:42:33	のところかなり
01:42:36	大きめにカバーできていい。
01:42:39	いうので、もうより深いところに、
01:42:42	速度コントラストを預けてもですね。
01:42:45	今の、
01:42:46	もう DM - 200 のところで Vs2100 にしてしまって、
01:42:50	そこから、
01:42:52	地下構造との関係では、
01:42:54	地下構造全体で何か深いところでも問題が生じるようなことはないんですって。
01:43:00	ちょっとこう、
01:43:02	小中 PS 検層モデルのところで、Vs1600 で 200 よりも深いところまで続いていますって言われると、
01:43:10	あれじゃそれどこまで続いていって、
01:43:13	どっかにコントラストがあるはないとおかしくなるんですけど、
01:43:17	ちょっとそこがですね、何か、
01:43:20	PS 検層モデルとの比較或いは上下動の説明の方ですという使い方をすると。
01:43:26	今度 30 ページが 29 ページとかこの辺りの説明と合って残ってないのかがですね、わかんなくなっていて、
01:43:33	この辺りはどういうその解釈をされている。
01:43:36	ですか。
01:43:47	九州電力の明石でございます。確かにちょっと両ページをペラペラ見ている等、
01:43:54	うんっていう話なんだろうなと私も今ちょっと鈴木さんのお話を伺いたいと思ってはいたんですけど。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:44:00	後ろの方の、130 ページ前後のところのあたりここは、何が言いたいか というと、要は200名、実態として200メートル不足増速度が急変する ような、
01:44:14	ことがあるかということについて、実際の速度構造を見ると、200 ちょ いではありますけど210メートルぐらいまで、られてる結果を見るとそ こで200で急変してるような様子はない。
01:44:27	で、し132ページ3ページ何が言いたいかということこれ、1キロぐら いの厚さがあるかないかということではなくって、速度構造じゃなくても 何か地質的に浅いところで急変するような情報があるかと。
01:44:41	いうと、地質的にはもう深いところまで佐世保層群なり均等に分布して て、少なくとも地質的にも浅いところ200メートルぐらいで急変するよ うなものはないと。
01:44:52	いうことで
01:44:54	このPS検層モデルとしてはその200メートルで、コントラストがない というのが実態に一番近い、次、モデルなんですと、ということが、たく って129ページから130何ページまでのやつがついてると。
01:45:09	で、さらに深いところまでがどうなのって、そこまでも速度が変わりま すかありませんとか、
01:45:15	いう話が言いたくて、ついてるわけではないですけどもそういう頭で前 の方のページを見ると、
01:45:22	ちょっと成功するのかどうなのかって話に確かになっちゃうなというこ ろは、
01:45:26	ありますので、特に後ろの方のページや私が今申し上げたような要は 200メートルでの急変っていうのはありませんよというのが速度構造か ら見てもまた地質情報から見ても、
01:45:39	そんなことはありませんというのが、ここで言いたいんですと。
01:45:43	いうのがよりちょっとはっきりするような記述をすべきだなというふう にちょっと今思っております。
01:45:50	以上でございます。
01:46:06	はい。はい。
01:46:10	そうすると、やっぱりPS検層モデルとの比較での、EL-以浅の地下構 造モデルの妥当性と、あとは地震観測記録のところでも少しコメント回答 にも入ってる上下動ですかね。
01:46:24	ここ1、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:46:26	細かな
01:46:28	一部で、ほぼ同等か出っこみ引っ込みがあるような周期 0.2 から 0.4 ぐらいですかね。
01:46:34	あそこの説明で使っている EL-より浅いところではというのは、
01:46:40	これは地下構造モデルとしては速度コントラストを置いていて、
01:46:43	PS 検層モデル比較対象の方は速度コントラストを設けない。
01:46:49	それで説明するわけ。
01:46:52	はい。
01:46:53	その運営はい。
01:46:56	ちょっとそれはそれで、
01:46:59	資料の方は最後までまっすぐカー。
01:47:09	はい。
01:47:10	そうすると、
01:47:15	ちょっと、今回すいませんあと微動アレイとか、あと簡易なんだっけ旧知の方も何か地震調査委員会 2007 とか、
01:47:23	微妙に 10 ページだったり全体なんですけど、少しその何をもとに設定したかって、
01:47:31	ただ帰ってきました。
01:47:33	帰ってきましたよねこれ。
01:47:35	はいキョッカの時にも何か微動アレイなんか使ってやってたんですかそれが何か説明上をはしより過ぎてたんで、
01:47:44	より正確に書きますということなのか今回
01:47:47	短周期機関も含めてのって話なんで、
01:47:50	何か微動アレイは昔のデータですよ。
01:47:55	なんか最近急に取ったわけじゃないんですよ。
01:48:00	ちょっとそこら辺は、
01:48:05	全体として、資料構成として、地下構造モデル 0 からではないんでしょうけど、今回標準音スペクトルの地下構造モデル作るというからには、
01:48:17	構成を見直しましたっていうのはいいんですけど、ちょっと急にこう、
01:48:21	微動アレイが入って、
01:48:23	きて、
01:48:23	Q 値のところにも地震調査委員会が入ってきてっていうことなんで、
01:48:33	これは、
01:48:34	この微動アレイを入れた。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:48:39	収支は、
01:48:50	これは、
01:48:51	30 ページで入れてるのは、
01:48:56	単純に、
01:48:57	これ協会の時にも採用したのか重視して、誰を最終的に、浅いところは何を重視してって、
01:49:07	強化の時にもこういう説明なり、
01:49:10	説明資料にはなかったような気もするんですけど、こういう検討はされてたということなんですか。
01:49:15	はい。九州電力の本村でございます。今回ですね速度構造密度の設定ということで、26 ページから 29 ページまでを、速度構造も、
01:49:27	直接的な設定根拠っていうのを前に持ってきてる。
01:49:31	で、既許可のときは、それを踏まえて最後に、微動アレイ、
01:49:36	との比較ということで、妥当性確認みたいなイメージで、速度構造を設定した後に、東條させてったところがありますので、そういう意味で、この 30 ページから 32 ページですかね。
01:49:50	そういう位置付けでちょっと、今回冊追加で入れさせてもらってると、というような位置付けで、ちょっといきなり微動アレイが出てきてるので、ちょっとあれなんですけど、
01:50:00	一応そういう位置付けで、今回追加をしています。
01:50:06	はい。確かになんか 30 ページの表で見ると、微動アレイ観測による速度構造モデルの確認と書いてあるので、
01:50:14	直接の設定根拠にしているというのも設定地下構造モデルで速度構造を設定して、
01:50:20	それもいいのか悪いのかというのを別角度から確認してますっていうことだと思うんですけど。
01:50:29	とか、
01:50:30	うん。
01:50:31	何か急に入ってきてて、
01:50:34	中瀬。
01:50:41	うん。
01:50:42	一応、九州電力本村です。Q 値の Q 値を新たに今回設定した後には妥当性確認みたいな、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:50:50	ものがついてるんですけど、速度については設定しましたで終わって、Q 値との整合性といいますか。
01:50:58	Q 値の時の妥当性が妥当性というか確認行為をしておりますので、速度構造についても、国民確認行為があるかなというところで、今回、その微動アレイっていうのが、
01:51:12	唐突ですけども、ちょっと入れさせてもらっていると。
01:51:16	いうところなんですけども。
01:51:17	ちょっとお待ちください。
01:51:19	これが中間の時も、同じような流れでは、
01:51:24	九州の中橋でございます。微動アレイのこのページが何かちょっと唐突感を持っているというところだとは思いますが、これも、納付、平たく言うところとか、
01:51:37	速度構造モデル、速度構造の設定でそれによって妥当性を確認するという、既許可のときに御説明やっていた行為をそのままもうまるっとここに、
01:51:48	載せてると。
01:51:50	いうところまでです。で、今までは、速度も図構造モデルの設定のところだけ参考。
01:51:57	だったかな補足だったかな、付けてたんですけどもこれあくまで立て付けとしては今回限界は、既許可モデル、とは別個の表示元スペクトル専用のモデルを作りますと。
01:52:09	いう立て付けになってますので1 から、速度構造モデル、速度構造の設定から、
01:52:16	Q 値の設定も含めて、一通り網羅的に説明をすると。
01:52:21	いうことでこの前の審査会合でもちょっとそういった
01:52:25	だったかなヒアリングだったらそういう議論があったというふうに我々にしておりますので、もう補足じゃなくて、既許可のときにご説明をした。
01:52:33	話をもう1 通り、載せると。
01:52:36	いうことで構成をした結果この微動アレイも既許可の時にこれも根拠として付けてたよねという話であったり、深いところの Q 値はどうしてんのって言ったら地震調査委員会。
01:52:49	当間川口をもとに設定してるということだったよねってそれをそのまま持ってきて、掲載したというところ。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:52:58	です。はい。
01:52:59	何か、その他の意図を持ってちょっと微動アレイをつけとかないと説明つかないねというような意図があってっていうものではございません。
01:53:07	以上でございます。
01:53:13	はあ。わかりました。なんで、単に設定数値をどっか持ってきましたというだけで今まで参考と一緒にプロットつけてたんで、一応この間
01:53:23	トップのときだったかな。
01:53:25	一応今回、地下構造モデルとして、
01:53:28	設定をしますということなんで、
01:53:32	参考というよりも本体でしょう。
01:53:35	その時に、このまま許可の時に設定と、なぜこの設定でいいのかという説明をしてたんで、それを持ってきましたと。
01:53:44	なるほど。一応同等の説明を 30 ページとかのものはしていたわけですね。
01:53:53	はい。
01:53:56	規制庁佐口ですけども、もう 1 回ごめんなさい、確認をさせていただきたいのは、やっぱり私は正直言って、
01:54:03	全体の論理構成がよくわからなくて今の資料だと、
01:54:07	実は今の明石さんのご説明を聞いて、そういうことかと思ったのは、結局今回 1 から、
01:54:14	地下構造モデルを作ります。とにかく清木強化のモデル等は全く別なものを、
01:54:20	というご説明なので、
01:54:23	それぞれに、
01:54:24	設定の根拠を
01:54:27	つけています。
01:54:29	という説明で、
01:54:31	よろしいです、それとも、
01:54:33	それともですよ。
01:54:35	もともと新たに作ると言いつつも、
01:54:40	当然長周期の部分というのは、それを目的に作ったモデルなので、そこ脇他のモデルは、そう、それは、長周期の部分は、
01:54:50	よしとして、むしろ短周期の部分について、
01:54:55	その長周期用のモデルを参考に、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:55:01	3周期から長周期含めて全部評価ができるようなモデルを作るんです。
01:55:08	という説明なのか、もう1回ちょっとどっちか確認させてもらっていいですか。
01:55:28	規制庁佐口でちょっと、ちょっと補足というか、もう少し言葉を付け加えますと、もし前者で、
01:55:35	やっぱり全く既許可とは別のモデルを作ります。
01:55:39	なので、当然ながら、
01:55:41	根拠としては当然既許可で作ったモデルと同じようなものを、
01:55:46	持ってきてはいるんですけども、
01:55:49	もし全く新しいものということは、
01:55:53	今回の標準応答スペクトルを、
01:55:57	考慮した地震の評価ですよ。
01:55:59	これを評価するに当たって、
01:56:03	当然
01:56:05	地震化基盤相当面から解放基盤、
01:56:09	表面。
01:56:10	までの地下構造モデル全体の、当然妥当性というのを我々は確認しなければ、
01:56:18	いけないわけで、
01:56:20	そうすると今、
01:56:22	それに対する、
01:56:24	設定はこうしました。
01:56:26	ではありますけど、
01:56:28	妥当性まで含めて、
01:56:31	この
01:56:33	資料にきちんと示されているかというのと、
01:56:36	別に、先ほど電算全社校舎と私言いましたけど、だから校舎ならいいの かっていう話でもなくて、校舎でも当然ながら、
01:56:45	地震基盤相当面から解放基盤表面までの、
01:56:48	地下構造モデルの設定の妥当性というのは当然示していただく必要 があるんですけど、
01:56:54	1から作るのと生ぜない場合と、
01:56:57	かなりこう、
01:56:59	確認する部分だったり、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:57:02	御社も当然ながらその妥当性を示す。
01:57:06	時に、
01:57:09	なんていうんすかね。
01:57:12	より、
01:57:15	1 から作る場ですよ。より、
01:57:18	何か、
01:57:19	その根拠というのはちゃんと、
01:57:21	もっとこれ足りないかもしれないです示していただく必要があるんですけど、ちょっとやっぱりですね全体の論理構成が私には少なくともわからなくて、
01:57:31	やっぱり少しそこってもう 1 回ちょっとやっぱり教えてもらっていいです。
01:57:35	どっちなのか。
01:58:10	いや、九州電力の明石でございます今野名倉さんおっしゃる通り、ガラポンではない。もう実態としては、既許可のモデルの速度構造、
01:58:22	これ、これまでのご説明の中でもありますけど、既許可既許可の速度構造そのまま使って、何となれば何ページかにあるかな観測記録で同定やってみてもそんなに速度構造も変わらないと。
01:58:36	究極モデルと変わらないという結果もえられる獲られたので速度構造はそのまんま置いといて、減衰について自体はかなり大きいというのがわかったんで下水についてちょっと見直しますと、
01:58:47	ということでモデルを構築してるのが、
01:58:54	なんすけど、実態としてというか、の流れになります。
01:59:00	で、ちょっと今となっては、ただ、何で
01:59:04	土岐局、そうか思い出したの、要は既許可モデルをベースとしながら、新たな標準応答スペクトル用のモデルを、
01:59:18	作りますと、あくまで、既許可モデルを改めますとなると今度菊川特定する方にまで全部跳ねてくる、くるところもありますのであくまで、
01:59:28	短周期単位まで含めて使える、
01:59:33	モデルをモデルを巻き強化の速度構造を使えるならば使いながら、結果的に
01:59:43	減衰は見直すことによって構築しますと。
01:59:46	いう形でやってます。
01:59:50	それがちょっと待ってくださいね。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:59:53	なんでさっき私全く別個のという言い方を全く別個のというかそうか。だから結局モデルは菊川モデルであって、標準応答スペクトル用として、
02:00:02	こっちの方では定義しますと。
02:00:06	いう形でやっていますので、なので、
02:00:13	説明は、
02:00:17	説明上はもしかしたら、その入口の速度構造としては、既許可以降に獲られたデータ自身河成記録に照らして同定しても、速度構造は変わらないと。
02:00:30	いうふうに見て取れますということで、既許可の速度構造を使いましたもん、もしかしたらそこ、もしかしたら多分そこで完結してるとは、
02:00:39	思うんですけども、
02:00:42	ちょっと悪い。
02:00:44	我々が既許可モデルとは別に、
02:00:47	標準語とスペクトの専用のというのをずっと言い続けてきたがために何かもう1から構築すると。
02:00:54	いう流れになっちゃって、
02:00:56	んなのかなと今ちょっと、
02:00:58	すいません私もちょっと十分頭の整理をし、
02:01:01	できて話をできていませんけども、
02:01:04	ちょっと実態はそんな感じです。
02:01:07	はい規制庁佐山施設長実態は、一応、
02:01:11	私はわかったつもりなんですけれども、
02:01:14	やっぱりそういう資料構成にはなっていないくて、
02:01:20	例えばですよ。
02:01:23	じゃあ何でその短周期、
02:01:26	部分がやっぱり教科のモデルだと。
02:01:29	例えば内野管理官なんか、
02:01:33	あれどこだっけ。
02:01:35	何か委員会かな。委員会かで、何か短周期用の精緻なモデルを作っていないみたいなそんな発言もしたと思うんですけど。
02:01:43	そうすると、いや、
02:01:45	例えば短周期の精度はあんまり良くなかったですよ清川。
02:01:51	で、今回それを、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:01:53	参考なのかベースなのかわからないんですけど、とにかく、こっからここまで、今回の地下構造モデルの設定に、
02:02:02	するにあたって、
02:02:04	ベースとなるのか参考になるのかちょっとわからないんですけど、できますというのが、
02:02:11	多分最初にあって、だからこそ、
02:02:14	この部分を、
02:02:18	変更という言い方なのか、新しく設定というのかそこは、私もちょっと何とも、
02:02:25	言えないんですけど、
02:02:26	という。
02:02:28	部分が少なからず最初に、必要じゃないのかなと思ってですねそれがないと、じゃあ何で、
02:02:36	-EL-200 メーターまでの、
02:02:40	減衰定数っていうのは新たに少し、
02:02:44	既許可で、
02:02:47	いろんな調査とか含め、含めてそうそういうところから獲られているものから、
02:02:52	変えるのか、っていうのが、
02:02:54	やっぱりちょっとわからない。
02:02:56	ですよ今資料が。
02:02:58	何でなんで EL-200 メーターより上の Q 値は違うんだけれども、
02:03:04	他は、既許可で使っているような値でいいのかと。
02:03:09	いうところがやっぱり、
02:03:10	わからなくて、
02:03:12	何かそこはやっぱり整理をしていただかないと。
02:03:19	どうかなっていうのと、
02:03:21	結局最後の最後ですよ。
02:03:24	届かない一番最後のまとめ、103 ページで、
02:03:29	結局これ、今回のその標準応答スペクトルをモデル。
02:03:34	もう妥当性というのを示していただく必要があるんですけど、
02:03:38	一番最後ですよ。
02:03:40	EL-200 メーターまでしか言われてなくて、当然 1 キロぐらいまであるんですよ、標準応答スペクトルのモデルって。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:03:48	これ足りないですよ。
02:03:50	ていうので、
02:03:52	何かマイナス EL-200 メーターまで支出の妥当性が示されれば、もうなんか、標準応答スペクトルモデルって OK なんですよ。
02:04:01	これいっちゃってるような、
02:04:03	ふうには私が見えてですね。
02:04:05	なので最後のまとめはやっぱり、
02:04:08	全体ですよ。モデル全体の妥当性をどういう形で、
02:04:12	確認しましたっていうのがないと、
02:04:15	やっぱり資料としても、
02:04:18	今の構成だと足りない。
02:04:21	少なくとも、私は考えてますんで、
02:04:24	やっぱり、もう少し全体の労力補正も含めて最終的に、
02:04:30	標準応答スペクトルをもう、
02:04:32	モデルですよ。モデル全体としての妥当性は、きちんとこの資料で示していただく必要が、
02:04:38	あると思ってますので、
02:04:40	そこは、
02:04:42	何ていうんすかね。いろんな資料の構成だったり、ちょっとその記載が足りないだけ、十分な
02:04:50	バックデータだったり根拠は、資料の中にあるかもしれないのでそこは、
02:04:55	少なくともわかるような資料は、
02:04:58	作成していただきたいと思います。よろしいですかね。
02:05:03	九州電力の明石でございます。今、佐古さんおっしゃった趣旨を理解したんですけどちょっと我々もですね実はずーっとちょっと迷いながら飽きたところもあって改めてちょっと正直別のお話をここでさせていただいてもう一度、
02:05:18	ちょっと確認というか我々が考えてることを、おかしくないかどうかという確認させていただければなんですけども。
02:05:26	一番実態に近い時系列で時期ですから我々が考えてやってきた流れが一番わかるのが本市の 18 ページかなと思うんですけども、
02:05:37	18 ページの右側にいうフローがありますけども、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:05:42	①既許可の地下構造モデルをどう作ってたかっていうのはもう先ほどちょっと議論になった微動アレイも含めて出てきたページなった通りで、速度構造はこれこれこういうふうの設定して、
02:05:53	地盤減衰は下用地でもっと地震調査委員会も踏まえて設定しましたと。
02:05:59	いう流れがあって、それ以降、既許可以降はまさに地震観測記録が増えてきてボーリングも掘ったというのがありました。それを踏まえて、聞くかの時がもう、どうモデルがどうなのっていうの分析をしてみると、
02:06:12	速度構造を分析してみても要は同定解析をやっても既許可の地下構造モデルと同じと言う結果が出てきたので速度構造はそのままでいいよね。
02:06:23	で、あとじゃ地盤減衰はどうなのって言ったら、記録のある範囲、浅いところについては、既許可の Q 値、
02:06:31	と、大きく下回るようはかなり減衰は保守的に見過ぎていたというところがありましたので、その精度を上げて、短周期についても信頼性高く評価できるモデルにしようということが、
02:06:44	標準応答スペクトルの構築の流れになっております。
02:06:49	で、ここから先我々が悩みつつ迷いつつ、何かいまだにちょっとふらふらしてる感があるかなと思うところが、で、標準応答スペクトルをモデルを作りますと言った瞬間に、
02:07:01	1 から 10 まで全部初めから構築し直して、さっき佐口さんがおっしゃってた通り深いところまで含めて全部の妥当性の説明をするという流れにもなっちゃうかなというところはあるんですけどもよく考えると、
02:07:16	我々は既許可のモデル速度構造は変わりませんでその浅いところについてデータを元に変えました。だからそこを変えたところについて、変えた結果としても妥当ですかっていうことを、
02:07:28	確認をしてお示しをすると。
02:07:33	慶長の名倉です。ちょっと途中で申しわけない。
02:07:36	そもそもね 18 ページ。
02:07:40	18 ページの④の評定とスペクトルのところの下に速度構造で 3.2 節がぶら下がっちゃってるから、
02:07:48	だから私たち勘違いしたんです。
02:07:52	設定し直してるように見えちゃったの。
02:07:56	3.2 の、
02:07:57	フワー内容はもっと①の菊間モデルの説明で使うべきところじゃないんじゃないですか。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:08:03	それを標準応答スペクトルをモデルの速度構造のところでも3.2程度説明しちゃったら、
02:08:09	3.2節のさっきの
02:08:12	聞くまで確認した内容を全部、もう1回総ざらいして設定し直してるように見えちゃってるんです。
02:08:19	だから出してくる順番が違うだけで、説明は、この説明通りでいいんだけど、
02:08:26	既許可のモデルの妥当性を説明するところが、
02:08:31	④にぶら下がっちゃってるのでそれでおかしく見えちゃってるんじゃないですかすみません私は首藤浅田で私が言いたかったのはそういうことだけです。
02:08:55	なんで、
02:08:58	当然もともとは長周期っても周期1秒ぐらいで1. 何秒ぐらいですかね、それより長周期が
02:09:05	の評価をするために、作りましたと、もともと目的はそうですけど、
02:09:10	それを今回地震基盤相当面よりも浅い
02:09:15	部分を1回、
02:09:17	持ってきました。
02:09:18	今度ただ使用目的や短周期も含めての使用目的に、
02:09:22	使いますっていうと、
02:09:24	その目的が範囲が周期体が広がるんだけど、
02:09:29	そうしたときにどこをいじくる必要があってここはいじくる必要がないのかっていう。
02:09:35	ところで、
02:09:37	短周期も含めて使えるモデルなんですってここは入れなくても使えるんですよっていうのがあんなら、その範囲だし、多分速度構造とかは多分入れなくても使えるっていう、
02:09:48	ことなんで、
02:09:49	何ですかね、
02:09:51	ただちょっとQ値月-200より浅いところはいじらないと使えないと言ってるのは、
02:09:59	阿南で1から作ろうとすると、最後作ったものについて、
02:10:06	いわゆる許可と同じように、かなりの粒度で妥当性を説明しなきゃいけないし、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:10:11	わかりてきました借りてきてそれを短周期側まで使ってもいいですって いう説明が毛頭あった上で、そういう説明が冒頭あった上で、ここ借り てきたんです。借りてきていじらなくていいんですっていうんだっ たら、
02:10:22	その説明を具体は、
02:10:25	そこまでいらないですよ。
02:10:29	うん。
02:10:34	10 ページで言うと、多分、
02:10:36	旧千野 - 200 から埼玉の旧千田家が多分、新しい新規制があるもので、 他は変わらないということ。
02:10:44	うん。
02:10:45	何かこうし、短周期までも拡張をしていくときに、どこまで説明したら いいのかっていう
02:10:52	井口がないと、何か 1 から全部こうだからと。
02:10:56	いう形になるんでまあと田嶋さんもわかるかな。
02:10:59	田嶋て規制庁田嶋です。
02:11:02	ちょっと関係するけど少しだけ話題が変わるともうちょっと単純なところ で自分がちょっと疑問に思ったのは、どうやって設定しましたよって いう説明はつけてねっていうのを、
02:11:15	多分以前のヒアリングでお願いしてたので、要はその説明が私としては ついたというふうに認識してたんですね。そういう目で単に見てて、
02:11:26	したときに、速度を見直さなくて大丈夫とかそういう浅いところの話は 大丈夫なんですけど、今回これ、改めて全部 200 メートル以浅も、より 深いところ以深ですね。
02:11:37	深いところも合同設定しましたよっていう資料をつけてもらおうと、 何か見直すことにしたりして、今回使うことにした。
02:11:47	200 メートルより深いところってというのが、地震本部の、その地震調査 委員会 2007 っていうのが、改めて後で、
02:11:57	何か運用の主点とかを見て、まず、中間報告だったんで、中間報告から 1 年後に正式版出てるから、
02:12:07	モデル変わってないのかなとかいうのがまずちょっと疑問に思って、ち よっと報告書ベースだと、直接のデータが何か深井で何かモデルとかそ ういうのは基本中間を参考にしてって変わってなさそうっていうのは見 たんですけど、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:12:22	でもそれ以降を、福岡県西方沖地震の特化した場所じゃないにしても、地震本部の深部地盤モデルって、
02:12:33	改訂されてきてるじゃないですか。そういうの2物性値として変わってないのかとかの、
02:12:40	確認は何か。
02:12:42	しない、した方が今回、その最新の一応知見をとというのがまとめにも書いているので、
02:12:50	確認して変わってないとかは、最低限この200メートルより下のところも、
02:12:56	他社確かめようもないのでこれ以上、
02:12:59	確認した方が、一応最新版の情報と照らし合わせて、今もう、2100とか3100とかっていうのは、
02:13:09	マーカー物性値として変わってないとかいうのを、玄海の直下辺りの、
02:13:15	何か最新モデルとかでも確認する、されるとか、そういう情報がつくといいのかなという気が、最低限ちょっとしました。で、
02:13:24	どうやって設定されてるってのはこれは、直接やられた調査とかっていうのはもう古いのしかないんでしょうがないじゃないですか。だけど、
02:13:34	世の中でその地震本部とかが調査されてのは進んできてると思うので、そこはやっておけば、フェーズとしてそんなに、
02:13:43	何か違和感がなくて、そうですねその辺が、自分はちょっともう少しこう、
02:13:50	この議論の、自分はそういう部分で、
02:13:53	確認されてるのかっていうのをちょっと聞こうと思ってたんですけどそのあたり、いかがでしょうか。
02:14:04	はい。九州電力の本村でございます。おっしゃる通り地震本部のさっきの中間報告から2008、報告書を見る限りは、ほとんど変わってないと。
02:14:15	いうところがあります。他の、それ以降の地震本部の方も、
02:14:19	ちょっと今、資料するっていうのは、今日手元にないので、はっきり言いませんけど、そういう知見でも変わらないというようなところは、間感触としてちょっと思ってるところもありますので、ちょっとそういったところで、
02:14:33	深いところの妥当性っていうか、そういうところは、確認できるかなと思いますので、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:14:41	長田嶋ですそうですね何で妥当性とまでは言わできえなくても、最新の知見は確認したけれどもやはり変更の必要がなさそうだというような、
02:14:53	確認は、今のこの話のストーリーでいくと。
02:14:56	ないと、ちょっとこう、200メートルより深いところだけ資料としてちょっと浮いてしまうような印象受けました。はい。よろしくをお願いします。
02:15:11	すいません名倉ですけど地震調査委員会 2007、
02:15:16	もう用いて深部を設定してたってのはそれは既許可の話ですよ。
02:15:22	うん。いや、それで、
02:15:24	清川清川の話としてそこは明確にさせていただきたいんですけど今田嶋さんがおっしゃった通りで、それに対して最新の、
02:15:32	知見を考慮した時にそこはそうではないという確認は、それは今回標準応答スペクトルをモデル。
02:15:40	であったのであればそこでちゃんと位置付けを分けて、
02:15:43	記載すべきなのかなというふうに私自身思っています。以上です。
02:15:55	はい。承知しました九州電力の明石でございます。今のところは、既許可以降の最新情報に照らしてもというところをしっかりと、
02:16:06	整理をいたします。すいませんちょっとくどいって言われるかもしれませんが最後ちょっとこのまとめ資料としてのまとめ方としてすいません。我々が迷ったところも含めてもう一度、今ちょっと確認を。
02:16:16	させていただければと思います。要は、我々今回の限界は、標準応答スペクトル用のモデルを杖を定義するというので、
02:16:28	速度構造の設定から結果的に1から作り直すような形になってますけども速度構造の設定はこうです、そのあと減衰はこうです、で妥当性を確認したらこうですっていうのを、
02:16:41	様の1から作ってるような形でちょっと校正し直すような、
02:16:46	やり方で今回資料を作っておりました。でも、結局でもやったことの理解としては、やっぱりそうじゃなくってまさにこの18ページに書けるように、
02:16:56	牧局モデルがあって、それ以降のデータがあって、それに照らしたら、速度構造は変えなくても大丈夫でした。あとはそのさっき言いました最新知見に照らしてというところが加えるとしてで、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:17:08	変えるべきと我々が判断したのは、減衰なので減衰についてはこれこれこうです、で、その変えたところについて妥当性はこうこうやって確認しましたと。
02:17:19	いう形でまとめれば、話としてはわかりやすくなるかなと改めて、
02:17:25	思い直しております今のちょっと構成として、1から作るような形にしてしまったところをもう一度ちょっと構成を取り直して、
02:17:34	わかるようにしたいとこう考えております。
02:17:38	今、私が申し上げたこと、要は、この18ページにあるフローの速度構造のところのぶら下げ方なんかをちょっと資料構成上取り直して、
02:17:50	まさにこの流れに沿ってわかるような形にしよう。
02:17:55	考えております。
02:17:59	がまたちょっとそこで何かそごございますでしょうか。
02:18:15	私もちょっと、
02:18:17	うん。
02:18:20	今の話だと、あれですか、まず入口のところで、
02:18:25	今回全周期体にあたっての地下構造モデル。
02:18:29	なんだけれども、
02:18:31	その許可のところから一部回りをきて、
02:18:34	いじらなきゃいけないところはどこですか。もしかしたら逆はないのかもしれないですね別に許可のQ値でも、短周期側で使えるんです。だけど、Q値は下げたい。そこは研究中大きく許可のQ値を聞く。
02:18:46	下もあるはずなんでそこだけ下げたいんです。
02:18:49	何かその今の話だとまず先に、
02:18:52	もともとは長周期対応に作ってたんだけど、それを短周期側でも、
02:18:57	含めても使えるんですって話を先にした上で、どこを入れるかを、もう、
02:19:03	Q値だけを入れますって話を先にした上で、後展開していく。
02:19:08	ていう話ですか。
02:19:18	いや、それで九州れる明石でございます。今までも今までもでも、そういう資料構成にして、いやいやということでこの資料構成にして、この
02:19:29	今までの流れからこの資料構成にしたところで、
02:19:33	わかりにくくなってる部分がある、多分我々がだから十分にちょっと、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:19:38	擦り合わせ切れてない部分があるんだなとちょっと思ってるんですけども。
02:19:47	それから、単純にもっともっと単純に考えるとこの微動アレイなんかも含めて既許可の地下構造モデル。
02:19:55	の設定というところをこうずらずらと並べてるところ先ほど名倉さんからもありました通りその小構成として取り直せば、
02:20:03	もうシンプルにわかることになるのかなと思うんですけども、
02:20:13	はい。規制庁佐口です。ちょっとごめんなさい。我々というかもう一度ちょっとそこを整理して、
02:20:20	いただきたくて別に
02:20:23	どっちがいいっていうわけではないので、ただし、どっちであろうとも最終的には標準応答スペクトル量、
02:20:33	の、
02:20:34	モデル、つまり、地震基盤相当面から解放基盤表面までの、
02:20:41	モデルの妥当性は、当然ながら示していただく必要があって、それを、
02:20:48	御社が説明。
02:20:51	しやすくかつ、
02:20:53	我々が、
02:20:55	それがちゃんと判断できる。
02:20:58	ようなまず資料。
02:21:00	していただきたいと、少なくとも私は最初の方に言ったのは、
02:21:06	ビームは-EL-200メーターまでのことしか言われてないんで、それより下って何をもって、
02:21:15	説明されるんですかっていうところなのか。
02:21:18	そこってよろしいですか。
02:21:26	えっと九州電力の赤瀬でございます。える-200よりマイナス200よりも下で、ここは当社もそこまでボーリングは掘ってませんし、地震観測。
02:21:39	記録もないと、いうことで当社は根井の友田ほかをもとに、全部ひっくり返してという話。
02:21:46	をしておりましてけどもそれはちょっと現状においては、何。
02:21:54	我々なんていう言い方しましたけど完全に、
02:21:59	いや要はもう下で、を、何か監査記録と同等のエビデンスとしてはナビエないということで、現状補足として、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:22:12	補足参考として、その 200 メーターまで観測事実として確認できていることを、に対して矛盾するようなことが 200 より下、
02:22:23	その友田ほかを使った検討の中では出てきておりませんと。
02:22:27	ということで、結果その 200 より下を物語ることができてるものは現状する元田他を使って参考として、
02:22:36	200 メーターまでの事実と矛盾するようなものは出てきてございませんと、ということでご説明をしているというもので、
02:22:46	ございます。
02:22:53	規制庁佐口さんの
02:22:55	ものすごく乱暴な言い方をするとですね、103 ページっていうのは、EL-200 メーターや最初私そうかなと思ったんですけど、EL-200 メーターより下っていうのは、
02:23:07	当然ながらこれ既許可モデルで機器を考えても妥当性これ示してるんで、そこは示す必要がないんで、書かれてないのかなと思ったんですよ。
02:23:17	そういう意味じゃないです。
02:23:28	実態としてはこのまとめとして書いてるところについてはもう 200 より下はあくまでその説明性向上でありますけども、
02:23:38	友田他をもって矛盾するところはないと、いうことも含めてのつもりでございます。ただ、先ほど別途私がちょっと口で、こういう資料構成に取り直す方がって話をしたのは、要は、
02:23:51	鼻からいくと既許可モデルに照らして、速度構造は変える必要ないで減衰については、浅いところは 200 までのデータに照らすと 200 までは、
02:24:02	こう変えた方がよりいい精度が上がるというか、
02:24:07	平たく言うと、これまで減衰保守的に取り過ぎてたのでその精度を保守性を失い範囲で失わない範囲でもうちょっと精度を上げますと、いうやり方をしました。なので、
02:24:20	200 メーターまで変えたところについては、200 万メーターまでの地震観測記録及び、ボーリングデータに照らして確認をしますと。
02:24:30	いうまとめ方。
02:24:32	もうあるのかなという言い方はちょっとおかしいですけども、
02:24:37	だから先ほど沢木さんが言われた乱暴な言い方するというに近い流れにもなりますけども、
02:24:47	じゃあ、何か、すみません名倉ですけども。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:24:50	ちょっと私もよくわかんなくなっちゃったのは 28 ページから 32 ページ、今回これ聞くものも追加してもらって許可でも、やっぱり EL-200 メーター以深について何らかのデータは、
02:25:03	既往の知見も含めてあって、それをちゃんと踏まえて今回説明を加えたのかなっていうふうにちょっと見たんですけど。
02:25:12	そういう意味で EL-200 メーター以深の速度構造をに関して、
02:25:19	若干説明材料を清川にさかのぼって、
02:25:26	探してこれを追加したんだというふうにちょっと私はとらえたんですけど。
02:25:31	そういう意味合いではないんですかね。これはこれ規制庁側も含めてなんですけど、そういう意味でこれ入れたんですよ。
02:25:40	よくわかんないこれ。そういう意味で入れてくれたので、全く今まで資料の中ではマイナス 200 メーター以浅のところ、
02:25:52	もう妥当性しか言ってないんだけど、いやそういうところも下の方は連続的にある程度の層が続いてるよっていう
02:26:00	そういう説明も加えてもらってこれは多分内藤が言ったことと整合的な内容を入れて、
02:26:06	補足したんじゃないかなと思ったんだけど、これ一体どういう意味なんですか。
02:26:23	ちょっと清川の時に説明していたものは、一応つけましたというのはちょっと一旦置いといて、
02:26:29	ちょっとやっぱりその、
02:26:31	Q 値とかもう、まあなんだ結局地震調査権 2007 或いは微動アレイはちょっとあるんですけど、慣用値だったり地震調査委員会 2007 基に、許可のときも、Q 値、
02:26:43	やっぱり速度構造密度と決めていて、
02:26:47	それを今回、短周期側も含めたもので、
02:26:53	使いますと。
02:26:55	いったときに、
02:26:57	これはあれなんですか。地震調査委員会 2000、そこでちょっとどの周期体からどの周期が使えて、その周期体が使えないなんて話を書いてあるのかはさておきですけど。
02:27:09	Q 値とかだから慣用値を使ってましたその慣用長者間集計があまり含めて地下構造モデルとしたときに、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:27:17	使ってはいけないとか、使って良いとか、なんかそういうものってあるんですか、地震調査委員会 2007 でも、いやこれは長周期側でしか使っちゃいけないんですけど、Q 値 78 ページですね。
02:27:30	それ短周期では使えないんですがそういうものではそもそもない。
02:27:38	なんで
02:27:39	何か言及がなくて使えないんだとすると、
02:27:42	あれだし別に、
02:27:44	出ないですよ
02:27:48	うん。ないですよ。だからそういう、
02:27:51	あえて何か今回この短周期側まで使う時に当たって何かいじらなきゃいけないものなのか、入れなくていいものなのかっていうと、
02:28:02	うん。
02:28:05	いいんですかね。
02:28:14	はい。
02:28:22	はい規制庁佐口ですけど、いずれにしてもどう説明されるのかっていうのは少し考えていただきたいんですけど、いずれにしても、102 ページ 103 ページを、
02:28:33	これをですね、素直に読むと、
02:28:36	まずコーセ設定を、
02:28:38	します。
02:28:39	今回のその標準応答スペクトルを考慮した地震動評価のためのモデルですよ、地下構造モデル、こういうふうに設定をします。
02:28:48	設定については当然、
02:28:51	Lー一番、102 ページの一番下ですよ。以深も含めて、とにかく地震基盤相当面から解放基盤表面まではこう設定をします。
02:29:03	ただし、
02:29:04	103 ページにいっちゃうと、
02:29:06	その妥当性とかっていう話が、
02:29:09	-200 メーターで止まっちゃうんですよ。
02:29:12	だから、
02:29:13	そこはどうなんですかという。だから別に、
02:29:16	いやいやもうそれは、マイナス 200 メーター以深っていうのは、こうこうでもこうだから妥当なんですよという、
02:29:23	そういう何かありますかと言ったときに、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:29:27	今ないので、
02:29:29	ちょっと説明足りないなど。
02:29:32	別にそれはもう文献値を使うんで、それは当然ながら、地震調査委員会で出されてるものなのでとかっていうのもありなのかもしれないんですけど、
02:29:41	いずれにしてもそこは、
02:29:43	ちょっとこのまとめの2分の2ページは、
02:29:47	うん。
02:29:48	少し、説明はちょっと考えていただきたいと思います。
02:29:57	えっと九州電力の明石でございます。このまとめのところの説明はおっしゃる通りちょっと、もうちょっと端的に整理をし直さなきゃいけないと思うんですけども、
02:30:08	200メートル以深について、200メートルまでやってることと同じような直接的なボーリングであったり地震観測だったりがない。
02:30:18	というのは、
02:30:19	事実でございますので、200の深いところの妥当性を言うとしたら、もう一つは先ほど乱暴なという話もありましたけども今も既許可と一緒にですと。
02:30:31	いうこと。
02:30:33	か。その友田他を使って、の検討によってその矛盾するというものは出てきてませんと。
02:30:43	いう立て付けかも、どちらかだと。
02:30:47	思いますので、思いますので考えておりますので、ちょっとそこはそれを踏まえてどう立て付けるかは、ちょっと今ちょっと整理をいたします。はい。
02:32:06	そうだ。
02:32:07	とこれで話は全く別のところじゃ来ますね。
02:32:13	ちょっと
02:32:15	今回の最後16点、12.5で一応の確認をした上で、16.7に一部変えますと、
02:32:24	で変えて帰った。
02:32:28	示しますというのが、ちょっと待ってくださいね100、
02:32:32	100と100。
02:32:37	100、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:32:38	が、そうかモデルで、101 が結果か。
02:32:42	これは電、
02:32:44	カンソウカほぼほぼ同じに見えるところ 12.5 と、あんまり、多分この黒実線標準を通すべきという意味でいうとあまり変わらないから、
02:32:54	壬生型として同じなんだと思うんですけど。
02:32:59	補足の⑤ですかね。
02:33:02	多分これ前もあれかな、何か前も伝達関数で見せてもらって、この点ではないと思いますけど、
02:33:12	やり方としては、なんだけど、
02:33:16	⑤の段階で Q 値を見直して、一旦地震観測記録を、
02:33:22	12.5 で、マイナス 200 メートルまでもう資金も下げます。それを、
02:33:28	そのままですかね、ずっと解放基盤まで上げるものと、標準応答スペクトルのみ、一部 Q を 16.7 にしたものでも上げると。
02:33:38	これを比較しました。鳥取、
02:33:41	んだけど、
02:33:44	最大加速度はこれで変えても、
02:33:48	この段階での最大加速度値はほとんど変わりませんということですね。
02:33:53	なんだけど、これ一、えっと、
02:33:57	伝達関数同士その標準スペクトルをモデルの伝達関数等、
02:34:03	あれ、もともとの Q=12 という設定した地下構造モデルの伝達関数で、何か比率じゃないか比較すると、そうすると何かもうちょっと違いって出てくるもんなんですか前も何か特産のやつでしたっけ。
02:34:17	地震基盤からの何か伝達関数ミリとか地震基盤からの何か、
02:34:22	応答スペクトルで見るとあんまり違いがないんで、書いてもほとんど 9 億かちょっといじったぐらいでは何も変わらないんだけど、伝達関数で見るともうちょっとその、
02:34:31	差が見て取れるとあって、何か見せ方があったような気もしたんですけど。
02:34:38	多分。うん。KSK。
02:34:40	すると、
02:34:41	ほぼ何か差がないのかなと。
02:34:49	これだと、なんでこの時、観測記録を用いて、この段階での比較ではほぼその何か違いが 0.00 点、コンマ何がかかるとか、
02:34:59	逆のパターンはないんでしょうけど、下がるようなパターン。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:35:03	ほとんど違いがありません。
02:35:05	ただ、最後地震動評価やってみて、その応答スペクトルなり、加速度で見ると、10 数ガルぐらいの違いでしたって話なんですけど、
02:35:15	何かもうちょっとこのあたり、
02:35:18	いや加速度で出して、これほとんど違いがありませんでもいいんですけど、
02:35:22	多分 101 ページの伝達関数と、もともと 90 何ページですかね、もともとの。
02:35:29	94 ページなのかなとか、96 ページでは 9596 とか、多分この伝達関数で、
02:35:37	あと、ちょっと違いがあるのかないのかっていうのは、
02:35:40	何か特に今のところ、
02:35:43	何かされてて、ものがあるって見ておられるのであればちょっと聞こうと思ったんですけど。
02:35:52	はい。九州電力の本村です。すいません、ちょっと今日、持ってきてないですけどちょっと比較もですね、ちょっと、
02:36:00	やれることはやると思いますし、
02:36:03	若干短周期側とか、差が出るかなとは思いますが、ちょっと確認させていただきますってちなみにですね、さっきおっしゃられた、
02:36:14	と 95 ページだとか、100、
02:36:17	1 ページですかね。
02:36:19	もうちょっと見てもらって 0.02 秒のところを見ると、若干やっぱり今回の評定応答スペクトル用モデル、
02:36:29	Q を 16.7 にしたときは、1 目盛り分ぐらいちょっと。
02:36:33	上がってるかなっていう、ちょっとすいません。比嘉。直接比較してないので、ちょっとわかりにくいとは思いますが、
02:36:40	200 メーターの範囲では若干そういうところが、
02:36:44	あるかなとはちょっと思う。
02:36:46	で見てたんですけども、
02:36:48	はい。
02:36:51	そうですね。確かになんか周期 0.1 秒等、伝達関数のプラマイ 1 の何かこの黒須の部分ですかね、これを見比べると確かに。
02:37:02	何か目視で少しぐらい、
02:37:05	でかくなってそうな、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:37:08	今、
02:37:09	しますけども
02:37:10	ちょっとこの辺比較する意味もないということであれば別に合わせて、 改めて別につけなくても結構ですし、
02:37:16	何か
02:37:17	うん。なんかちょっと加速度だけでこれ見るとなんか何も変わらないように見えるんで。
02:37:23	はい。
02:37:27	ちょっと今日は新規でできている地震動の方ですかねあちら中心に、
02:37:34	いくつかは言いました。
02:37:36	もう、
02:37:40	どうあれ、
02:37:46	どうなんだろう。
02:38:35	規制庁佐口ですけど、ちょっと一定だけすごく細かいことなんですけど、これを教えていただきたいのを、
02:38:41	95 ページって、
02:38:46	これ、94 ページのものをそのまま使って、
02:38:51	います。
02:38:52	つまり設定した地下構造モデルっていうのも、
02:38:57	一番下は、
02:38:59	Vs2100 ベース。
02:39:01	Vp、
02:39:03	4000 円のものを入れていて、
02:39:05	他の
02:39:07	PS 検層も、
02:39:09	ものは、
02:39:10	上と同じものを入れていて、そういう、
02:39:16	ものを比較したのが 95 ということでよろしいです。
02:39:22	はい。九州電力の友野ですおっしゃる通りですね書いてる通りではございませんけども、95 ページの結果というのは、設定した地下構造モデルは、
02:39:33	EL-200 メーターで 2100Vp、4000 ですね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:39:39	モデルで、PS 検層モデルにつきましては、200 メーターより浅いところをそのまま伸ばしてるモデルになりますコントラストがないモデルになります。
02:40:43	あ、あ、すみません、ではちょっと最後、少し時間を伸びてますけど、
02:40:49	他のも含めてですね、模擬審査とか許可基準地震動評価への影響とか、前の資料も含めて、
02:40:56	何かある方。
02:41:02	規制庁佐口ですけど。
02:41:05	ちょっとこれも教えてください。
02:41:08	026 の標準応答スペクトルコール震度評価における模擬地震版の作成及び基準地震動の策定についての資料なんですけど。
02:41:20	これーなんだろう。
02:41:23	記載だけの話の
02:41:25	例えば、10、
02:41:29	6 ページとかだ等、
02:41:33	16 ページとか 17 ページでもいいんですけど、
02:41:35	この場合は、
02:41:39	継続時間の話ですね、これ主要動の継続時間という、
02:41:45	記載があって、
02:41:51	この 20 ページにいくと、
02:41:54	今度その主要度ではなくて共振分の継続時間、
02:41:58	というふうに、
02:42:00	若干これ記載変わっているんですけどこれは、
02:42:03	あえてこう、
02:42:05	変えられているのか。
02:42:07	この 22 ページもそうなんですけど、22 ページ共振部共振部と言いなから、
02:42:14	何か水平 300gal、
02:42:16	鉛直 200 あるって書いてますけど、
02:42:20	これ、
02:42:21	一律でいいんですかね。
02:42:24	LAN 水槽も観測井総務っていう、ちょっとその辺、あえて使い分けられているのかどうかというのを教えてもらっていいですか。
02:42:36	九州電力の盛でございます。まず、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:42:39	主要動と共振部の方ですけど、こちら糸瀬に使っているものではございませんで、言葉としてはちょっと
02:42:48	同じ意味で振幅の大きい、
02:42:51	範囲ということで使っています。
02:42:53	もう一つの 200 ある 300gal、
02:42:57	の継続時間の一律で良いのかってところにつきましては、
02:43:01	こちらにつきましては今回、
02:43:07	震源を特定せず策定する地震動として最後取り入れるという意味で、
02:43:12	相対的な振幅の大きさを比べるのではなくて、
02:43:16	絶対値として大きな振幅を比べるべきだという考えに基づきまして、
02:43:22	こちらは
02:43:24	一定値 300 ある 200 あるっていうものを LAN 水素観測位相も同じ閾値として比較をしています。
02:43:35	はい。規制庁佐口です。
02:43:38	ごめんなさいちょっとちょっとよくわからなかったんですけど、17 ページと、
02:43:43	17 ページと 20、
02:43:46	違うの。
02:43:48	20、
02:43:49	2、20 ページとかの、
02:43:52	基本的にこれは同じような、同じ意味合いなんだけれども、
02:43:57	最後の最後で、
02:44:00	22 ページについては、同じ意味合いなんだけれども、その閾値は、300200 というので固定で、
02:44:09	この 300200 っていうのはどっから出たんですかっていうと、
02:44:13	多分 LAN 水槽の方。
02:44:15	から、
02:44:16	ざっくり半分かな、
02:44:19	ていう感じなんですけどそういうことでよろしいんですかね。
02:44:23	はい。
02:44:25	はい、九州電力の盛ですおっしゃる通りで、計 17 ページの方は、
02:44:32	あくまで候補となる
02:44:34	観測層の、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:44:36	による模擬地震の候補となる地震につきまして、相対的に振幅の大きなものを比較するという観点で、目安として最大加速度の0.5倍以上というところで、同じように比較を、
02:44:48	0.5倍以上ということで比較を行っております。
02:44:53	一方で、22ページの方は、
02:44:56	水素観測相殺後の比較というところで、こちらにつきましては、言っていて、一定値をもとに
02:45:04	波を比較すべきということで、比較はおっしゃる通り大体、水槽の半分といえますか
02:45:12	標準とスペックを考慮した地震動の
02:45:15	ポートスペック600Galとか400からございますけどは、大体半分を目安として300万200あるという閾値を作成して
02:45:24	閾値として評価してございます。以上でございます。
02:45:33	はい。規制庁佐口佐野。
02:45:35	今、状況はわかったんですけど、ちなみにこの22ページで観測位相を、
02:45:41	同じような17ページとか同じような形で最大加速度の、
02:45:46	0.
02:45:47	5倍、だから半分、半分の振幅があるうちはっていう継続時間を取っちゃうと、何か、むしろ高欄水槽より長くなったりするようなことってあるんですか、そこって確認されてます。
02:46:03	九州電力の盛でございます。まずLAN水槽と乾燥機をそれぞれ半分の値で比較しますと、
02:46:11	川崎宗の方さ、単純に半分にしますと280とかですね、285ガルとかそれぐらいの値になりまして300ガルよりもちっちゃい値ということで、
02:46:21	これ一律比較するには適切じゃないのかなという考えはございますが、一旦LAN水素も観測位相も同じ条件0.5番の辺りで、
02:46:32	確認もしております、結果としましては軟水層の方が継続時間が長いということを確認してございます。
02:46:42	わかりますと、わかったんですけどならなんかあえて変える必要があるのかなというのが正直なところなので、規制庁佐口ですけど。
02:46:52	一応考え方だけはわかりました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:47:11	すいません私すごい細かいことなんですけど、同じ資料の 32 ページで、さっき鈴木さんが買った加藤スペクトルの話してましたけど、これってやっぱりここに加藤スペクトルが載ってないとおかしいんです。
02:47:23	OK。
02:47:24	もう、
02:47:26	基準だとかガイドだっかの関係から言っているんいるんですかね。
02:47:32	というか、あるとあったで。
02:47:36	何であるんでしょうかっていう、素朴な疑問として、
02:47:43	中電力の森でございます。実情を申し上げますと、この表、震源を特定せず策定する地震動の絵と比較で申請書の添 6 の中にもですけどこの
02:47:54	A 氏、
02:47:56	震源を特定せず策定する地震動として玄海の場合はその思いの地震それから鳥取県西部地震と今回も標準応答スペクトルを加えていますけど、こちらと加藤スペクトルを比較した図がございます。
02:48:08	ちょっとここは私、私ども少し悩んだところではあるんですけど、そういう申請上の表では加藤スペックを最後
02:48:15	影響は Ss にはならないってことで落ちてはいるんですけど、比較した図がございますんで、古藤スペクトルの現状を記載して、言えっるのが実情でございます。私も谷ですけど、
02:48:28	既許可では、話の中で必要だったというのは、私もわかってるつもりなんですけど、今になってこれが、
02:48:35	はげてないといけないのかなっていうのはちょっと思ったのでそれは
02:48:40	何か理由があるんだったら、私はいいと思いますけれども、何かいまいち僕はわからなかったと。
02:48:50	今お任せします。
02:48:53	あとはねなんか
02:48:55	これも細かい話なんで教えてくださいなんですけれども、
02:49:00	どこだったかな、観測位相を使って、
02:49:03	作ります要望と、
02:49:07	模擬地震を作りますよっていうところで、
02:49:10	何かの観測記録としては、地表部の分を使いますっていう、
02:49:15	何かどっかあったと思うんですけど。
02:49:18	13 ページですかね。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:49:22	これ、何か理由があるんですか。観測記録プラス 11 メーターを用いる理由ってというのは何かあれば教えて欲しいなど。
02:49:31	九州電力の盛です。
02:49:33	玄海原子力発電所の場合は地震観測点のあれが硬質な岩盤が広がって分布しております、
02:49:43	地表面の記録ってというのは
02:49:46	この硬い岩盤上の記録で、かつ露頭上の記録として扱いますので、そういう観点でもう
02:49:55	今回模擬地震を作る観点では使えるんでな、しよう。
02:50:01	適用適応沿いに良いのではないかとこのところで、選定してございます。
02:50:07	荒谷です。露頭上の記録だから、ある 1 個、ほかの観測記録を使うよりもこっちの方が適しているっていうのが九州電力の考え方っていうか、
02:50:23	あとさっきの 27 ページなんですけどこれただの感想ですけど、やっぱり私もここは鈴木さんと同じで、
02:50:32	ここが何か論点になりそうな話だなというふうに私も感じました要するに断層モデル、
02:50:39	ハと比べるのが適切なのかと。
02:50:43	いうところのね、論点なりそうなところだと思いました。私の方以上でした。
02:50:51	はい規制庁サクセスと私も言い忘れたので先ほどちょっと確認なんですけど、
02:50:57	27 ページで、これちょっとイメージっていうのか、どう、どういうイメージを、
02:51:02	お持ちなのかっていうのを、最初鈴木の方からありましたけどももう 1 回ちょっと教えていただきたいくて、
02:51:08	この基準地震動 Ss1 から Ss5 を上回るということは、
02:51:15	Ss1、
02:51:16	から Ss 後の、
02:51:19	全包絡ですね。
02:51:21	全厚楽したものを上回る、
02:51:25	で考えればいいのか、だから逆に言うと、全包絡しているものを下回ってれば、これは基準地震動 Ss6 としては策定しなくていいと。
02:51:35	企業考えなのか、ちょっとそこ。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:51:38	どう考えているのかももう1回確認させてください。
02:51:48	九州電力の盛でございます。
02:51:51	当社としましては、Ss6につきましては、
02:51:55	1から6に漫然包絡されたものをまず上回ってれば、どっかでも待ってれば、基準地震動として取り入れが必要だということ、その通りですが、
02:52:05	全包絡したものを仮に下回っていても、一つ一つの地震動等の関係で3成分、水平方向と上下方向ですね、こちらを確認しまして、
02:52:16	いずれかの地震動で間を包絡されてない周期、同一の地震動で包絡されてないような周期がございましたら、
02:52:23	基準地震動と震源を特定せず策定する地震動として、基準地震動として取り入れるという考えでございます。こちらの
02:52:31	標準応答スペクトルの取りに対する申請不要報告の際のですね、気を踏まえまして、そのような考え方で実施するものと考えてございます。
02:52:44	はい規制庁佐口です。
02:52:46	うん。そうするとちょっと何か今のこの記載本当にいいのかなという気がしてですね。
02:52:53	Ss1から、
02:52:55	Ss5のいずれかをということですよ。いずれか一つでもとにかく上回ってればこれ基準地震動Ss6として策定すると。
02:53:04	次、今のご説明だと、そういうふうに私は聞こえたんですけど、そういうももう1回理解でよろしいでしょうかね。
02:53:22	すみません九州電力の盛です。
02:53:25	ちょっといずれかの周期体っていう記載になってございますけども、
02:53:30	既存の基準地震動の、
02:53:34	いずれかの関田井。
02:53:38	基準、すべての基準地震動に、を含めて、いずれかの周期体で上回っていると。
02:53:44	場合は基準地震動として策定するというので考え方自体はすみません私が先ほどご説明した通りで、上回る場合で終わらない場合も、
02:53:55	小浦関係を確認して、基準地震動として策定するという考え方に
02:54:00	とは井戸層はございません。
02:54:04	九州電力の明石でございます若干ちょっと向こうも五感を受けとめられてるかなと思って、ちょっと補足ですけども、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:54:13	先ほども盛が申しました通り、我々全包絡に対して超えてるか超えてないかまずそういう見方をしてるってのは事実ですけども。
02:54:25	全包絡してて、全包絡の、税法で全包絡の線に対して下回ってればじゃもう Ss にしないとしてるかという、そうではなくて、
02:54:36	そうではなくてっていうかそうしてて、ひっくり返ったっちゃうか我々当たらなかったのがその限界は当初、変更不要ですと申請をしてそうじゃなくなったと。
02:54:47	というのがもうその経緯がありますのでさっきの盛が申し上げた通り、全包絡を下回ってるからそれでよしとするわけではなくって、あとは、ある特定の基準地震動に対して全包絡されてればそれはそれでよしなんですけど、
02:55:01	ある方向に対した例えば Ss1 でこっちの方向は Ss2 とかだとちょっとまたそうはいかないよと、いうことで整理をします。
02:55:10	というのが我々の考え方です。ただ、それを何でここにはっきり書いてないのかということについては要は既許可への羽根をちょっと、
02:55:20	危惧しております、
02:55:22	Ss-2 と 3、断層モデルはがいっぱい出てきてるやつ、これで我々は、エスワンを超えてる中でチャンピオン。
02:55:32	A を As2 と 3、それぞれにしてるんですけども、
02:55:37	断層モデルの評価結果をそれぞれで、
02:55:43	比比べてみると、ある、全周期体にわたってこの選んでるチャンピオンが全周期他にわたって包絡してるかというところじゃない、係数。
02:55:54	もありますので、先ほど私が申し上げた考え方をさかのぼって、断層モデルの断層モデルの選び方までさかのぼると、ちょっと既許可に大きくはねると。
02:56:05	いうところがありまして、
02:56:08	もう有体に正直物を申し上げるとここはちょっともう結果論ではありますけども、今回我々が選んだ Ss6、今回評価結果がもう、どこかの周期体ではありますけどももうこの Ss1 から 5 どれかをもう上回ってますので、
02:56:24	もうこれは明らかに As 層として選ぶものであるということで、もうそういう書きぶりに、
02:56:32	まとめて、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:56:33	おります。ただ、実態としてどうかと申し上げた先ほど申し上げた通り我々は変更不要報告で、ちょっと考えが浅かったところもありますので、
02:56:44	これ、今後、要はこの全包絡線に対して下回っててもちょっとまたちょっと待って一つ一つの基準地震動と見比べていったらどうなんだと。
02:56:54	いうことは必ずチェックは加えます。ただ、ここで震源として、もう我々の考え方もそうですというふうに明確に謳ってしまうと過去はどうなんだというところでちょっと、
02:57:05	羽根が出てきますのでちょっとそこは書きづらかったというのが正直な話でございます。
02:57:16	はい規制庁佐口です。多分、
02:57:19	もう本当にごく最近の会合とかを、いくつか
02:57:26	基準地震動に間、
02:57:28	経営したような会合とか見ていただければわかると思うんですけど少なくともですね、
02:57:34	震源を特定してと特定せずって、結構もう我々切り分けて、
02:57:42	特定せずでこういうふうにするからあそこそれを特定しての方にも、
02:57:47	何か同じ選び方をしろなんていうのは少なくとも言ってなくてですね。
02:57:52	多分そこは切り分けられると思っているんですけど、いずれにしても今は、あくまでも今回のこの Ss6 っていうのは、もう
02:58:01	少なくとも Ss1 から Ss 後、どう、どこどこでっていうかどれであっても、もうそれを少なくとも超えている部分があるので、そこはもう採用しますとそういう考え方。
02:58:13	ていうのは、
02:58:14	一応わかりましたので、何かこれがひっくり返るわけではないので、そこはわかりました。
02:58:24	規制庁の名倉です。
02:58:27	私も昨日も同じで、
02:58:29	特定するほど補正せず、
02:58:33	については見方を分けて特に、
02:58:36	断層モデルは、
02:58:38	藤茂木自身は、
02:58:40	というのは、やっぱり位置付けをちゃんと分けて、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

02:58:44	断層モデルはによって、
02:58:47	模擬地震は包絡されてるかいかんっていうのはあんまり、
02:58:51	見方としては、適切ではないのかなと。
02:58:55	そういう意味で、整数 1 から 5 といた時に都さんを含めて、
02:59:00	崩落関係を説明するのは何かちょっと違和感があります。
02:59:05	あとは、
02:59:07	ここもちょっと注意していただきたいのは、
02:59:11	SAS 湾は特定するほうなんだけど模擬地震はベースになるもの。
02:59:17	それから、4 と 5 っていうのは、観測はの、周波数特性使ってるんだけど、
02:59:24	ランダム位相でやっても美人はとして作って、
02:59:29	とか、ここら辺、これ茂木千原ランダムでやったっけ、これはわかんないけど、以前瀬尾茂木自身はで作っているものですので、
02:59:39	そういう意味で今後、
02:59:42	施設への影響を説明するときに、
02:59:44	しっかり説明を、4 と 5 も含めて説明していただいた方がいいかなというふうにちょっと思います。
02:59:52	というのは、上下方向だけ見ると、
02:59:55	0.04 秒 05 秒ぐらいのところっていうのは、ピークが 1.4 倍ぐらいあるわけですね。
03:00:05	Ss6 っていうのは、エスワンに対して、
03:00:08	でもその領域っていうのは Ss5。
03:00:11	にある程度影響が、実はそっちの方が大きくて、
03:00:15	着目すべきなのは、
03:00:18	やはり水平の NSEW の 0.1 秒。
03:00:22	0.2 秒とか湖辺近辺。
03:00:25	これは 12 割ですよ。
03:00:29	だから、そういった影響があるものとして、
03:00:33	そういう意味では SsWAN による評価を保守的に施設がやっているからだから、
03:00:40	ある程度の余裕を持った評価をもととしているので、この NSEW の領域の訂正する 6H の、
03:00:51	をオーバーしてる下限っていうのは、それほど施設に対して致命的な影響があるわけではないという説明。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

03:00:59	私はそういうふうにご説明してはいるんですけど、そういうふうな説明をちゃんとしてもらわないと。
03:01:06	施設への影響の観点で致命的な影響が、標準応答スペクトルあるんで、経過措置の、との関係でいくと、
03:01:16	前提が覆るくつ帰っていないっていう議論
03:01:19	になりうるんでそういったところの説明はちゃんと、
03:01:22	エスワンと4と5と6の関係を説明すべきかなと思いますけど。
03:01:29	そういったところも念頭にですね、
03:01:31	Ss ロックっていうのはどうして。
03:01:34	Ss としてさえ先生の影響の観点で採用する必要があったのか。
03:01:39	というところの説明をよく考えていただきたい。
03:01:42	というのは私の意見です。以上です。
03:01:46	はい九州電力の明石でございます。今の名倉さんからお話理解いたしました。まず先ほど私ちょっとぶっちゃけた話もしましたが特定施設との
03:01:57	切り分けといいますか、そもそも特定施設としての位置付けとして物語るべきところと、であるからこそ、145と6との関係の
03:02:10	のご説明もちょっと加えるべきというところは理解いたしましたのもうちょっとここは書きぶりも含めて整理をいたします。はい。以上でございます。
03:02:28	やっぱり、
03:02:35	すいません。
03:02:38	PPPTCの28の、ちょっとすいません資料に戻って、
03:02:44	ちょっと簡単な
03:02:46	体裁面といいますか前回までの資料の構成とかで、
03:02:52	ちょっと話に出てたところでわかりにくいなというところをちょっとお伝えするだけなんですけど、
03:02:59	最初まず2点あって一つ目が、まず、9ページなんですけど、
03:03:05	9ページで、から、この2ポツで大體設定の概要を理解しようと思ったときに、9ページが一番モデルの設定が1枚に収まってるんですけど、
03:03:18	これ見てた時に、このページだけだと最後9兆16.7に一部するっていうのが、
03:03:25	12ページまでいかないよ。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

03:03:28	わからなかったのが、ちょっとやはり高級町最後 16.7 に設定するっていうのも、この地下構造モデルの設定二つ目の四角の
03:03:39	流れの一つなんじゃないかなと思ひまして、
03:03:43	9 ページに、もう一貫して最後、16.7 にする部分の話も、
03:03:52	入れた方が、
03:03:54	わかりやすいかな。
03:03:56	今までもそのあたり、
03:03:57	少し資料の何ですかね、作り方というので議論になっていたので、
03:04:03	思ったんですけども 1 点目いかがでしょうか。
03:04:11	はい。九州電力の本村です。おっしゃるところはちょっと理解しましたちょっと検討したいと思います。
03:04:18	規制庁田嶋ですありがとうございます。
03:04:20	あともう 1 点が先ほど少しだけ話題に上がった 94 ページ。
03:04:30	94、94 ページですね、94 ページから、
03:04:35	9495 のところで、これも前回の、多分審査会合で、全部コントラストなっしーで、前回、
03:04:46	設定、
03:04:48	するんですかねモデルの方も、一番左先佐口からちょっと確認があった。
03:04:55	ようになんか一番左の設定した地下構造モデルもコントラストな C だけで、
03:05:01	になってたものに対して、
03:05:03	確か審査会合で、
03:05:06	余裕を持ってか保守的に設定してるんだというような発言が確か明石さんからあって、その意図としては、
03:05:16	本来は、
03:05:19	なんで、一番左の地下構造モデルもコントラストなしなんていい思っているところを、
03:05:26	コントラストをつけて、
03:05:28	保守的にしてるんだというような説明とかってそそっから
03:05:33	内藤管理官からも、
03:05:35	それについて確認があったので、ここってやっぱり、
03:05:40	コントラストなしの地下構造モデルも破線か何かで入れておいて、その最終的なモデルは、結局それでもコントラストが入ってるので、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

03:05:51	保守的にしてるんですという、説明がこれだとまだわかりにくいんじゃないだろうかと思って、
03:05:58	ちょっと資料上はそこが、その意図がわかる説明と、
03:06:03	その破線とこのくる最終的には、結局この分、このぐらいだけコントラストつけることで、
03:06:09	余裕を見てるんだから保守的にしてるのかとか、そういう考えでやりますというのを、資料上、後何ですかね、わかるように、
03:06:18	した方がいいんじゃないかというのが2点目です。そちらはいかがでしょうか。
03:06:24	はい。九州電力の本村です。おっしゃる通り、破線でコントラストなし入れると、そこら辺、前回の会合での我々からの発言です、そういうところは、
03:06:35	わかるようになるかなと思いますので、
03:06:38	入れたいと思います。
03:06:50	うん多分もともとあれかな前々回とかの会合の時点のところから、何かそのコントラストって実際どこまであってどこまでないのかって、
03:07:00	同じ土俵で比較するとコンプライアンスなしなんだけど実際はね、モデルとしてはコンプライアンスをつけてるんだけど、一旦コントラストなしで見るとっていう、何かワンクッションがある。
03:07:11	はずなんで、
03:07:14	ちょっとそこは、点線なのか何でもいいですけど、ちょっとそこら辺は工夫されるってことですね。
03:07:29	ちょっと
03:07:31	回目のヒアリング対象とかなりちょっと時間は超過しましたがけれども特にちょっと地下構造モデルの方は、
03:07:38	普段、大事なところであるので、
03:07:41	どういう、
03:07:43	論理でっていうところはね、ちょっとそこは
03:07:46	もう少しそれに沿って、
03:07:48	場合によっては
03:07:50	今回、どの部分は説明しなきゃいけないその部分は、だから変えてないので説明としては、同じで良いというか、扱いですよ。変わるの、
03:08:01	ちょっとまずそこであると、あと運営審査の方は、その大熊に大きな話はちょっとそのSsとして最後選び方のところあるんですけど、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

03:08:11	それ以外のところは、これちょっと細かいところの確認ではあったんで少しそれを資料の方に、
03:08:18	反映をして、最後ちょっと許可地震動への影響はちょっとどこにくっつけて説明するのかこれも含めて工夫してください。
03:08:26	いう話です。
03:08:30	今、プラス1時間足が出てますんで、
03:08:34	いかなければ、
03:08:36	今日は、
03:08:41	それで、なんですが、
03:08:43	当資料としてはどうですか、ちょっと今回もう五月雨で、
03:08:48	出てきていて、仙台も五月雨で出てきてるんです。
03:08:52	今日が30
03:08:59	ん。
03:09:03	来週ちょっともう1回ヒアリングできないとかなり、
03:09:07	来週って言っても来週中というよりも、
03:09:09	ほぼほぼその来、いつもだと大体ね、毎週水曜日ぐらいヒアリングしてますけど、
03:09:15	ある程度そのタイミングでヒアリングできてないと。
03:09:21	かいね。うん。
03:09:23	そうですね。なかなか厳しいかなと思うんですけど。
03:09:26	資料として本ぐらいですかね。
03:09:36	九州電力の明石でございます。資料全部模擬地震、模擬地震版については大きな修正ではないと思いますので
03:09:48	明日っちゅうわけにはいかないと思いますけどももう数日あればと思いますが、地下構造の方が、先ほどちょっと構成として悩んでたところ、
03:09:58	結局私、ちょっと二つありますという言い方で深いところはもう書いてないからいいでしょうというバージョンもあるとは言いましたけどもすると、今まで我々がずっと説明してきたことからちょっとまた、
03:10:12	言ってることを大きく変えるようなことにもなりますので、
03:10:19	200メートルまでは観測事実で確認して200メートル下は友田ほか参考的ではあるけど説明性向上として、
03:10:30	うん、いや、いや、いやどっちにしろちょっとそこを悩んで地下こそモデルのところ、効果を再構成すると、ちょっと2、3値、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

03:10:40	とは言わず若干日にちが欲しいかあれなんで、すみません、茂木新屋の方は、今日、29 ですから、今週中には終了わって申請は出てくるけど、ちょっと地下構造が、
03:10:53	今週の
03:10:55	ちょっともう少し時間かかりますよ。
03:10:59	二、三日ですぐ出てくる模擬地震だと、地下構造はもうちょっと時間かかりますってことですね。はい。
03:11:05	わかりました。ちょっとそこは出てきた後、の一井中身確認しヒアリングでっていう話があるので、無理強いがすぐ出るんだったら、それを先に出してもらってそっちから確認するっていうのはそこは有り得ますんで。
03:11:19	何か確認してって言うてるのはあれ、出てきたら出てきた時点で、ヒアリングに向けて中身を見るって意味なんで、
03:11:26	はい、わかりました。早く出てくるのはよく出てくる方は先出てください。はい。
03:11:32	以上で、ヒアリングを終了しますお疲れ様でした。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。